

令和4年(2022年)  
全国災害時気象概況

令和5年6月

気象庁



## —— 目 次 ——

1 令和4年(2022年)の気象災害 .....	1
1-1 気象の特徴 .....	1
1-2 主な気象災害 .....	2
資料1-2-1 主な気象災害に対応する気象資料 .....	16
資料1-2-2 令和4年(2022年)に発生した主な竜巻等の突風 .....	23
2 令和4年(2022年) 台風の概要 .....	24
2-1 令和4年(2022年)に発生した台風 .....	24
資料2-1-1 台風発生数一覧表 .....	25
資料2-1-2 日本への台風接近数一覧表 .....	26
資料2-1-3 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表 .....	27
資料2-1-4 日本への台風上陸数一覧表 .....	28
資料2-1-5 令和4年(2022年)に発生した台風の一覧表 .....	29
2-2 令和4年(2022年)に日本に影響した主な台風 .....	30
資料2-2-1 令和4年(2022年)に日本に影響した台風の概要表 .....	33
資料2-2-2 令和4年(2022年)に発生した台風の経路図 .....	34
3 令和4年(2022年)の天気概況 .....	39

---

本資料は、人的被害や社会活動に大きな影響のあった主な気象災害の概況や台風などについて、気象庁大気海洋部において取りまとめたものである。

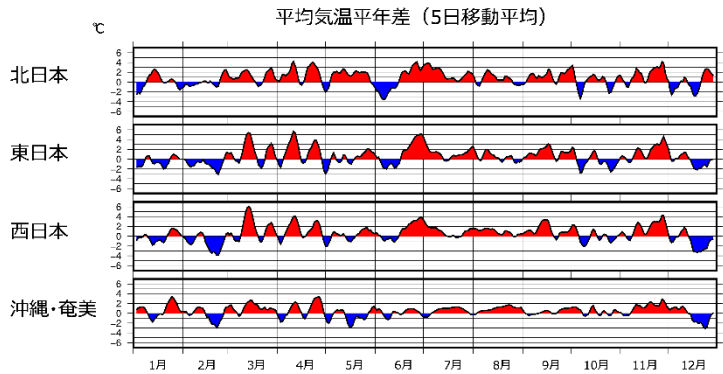


# 1 令和4年(2022年)の気象災害

## 1-1 気象の特徴

○ 年平均気温は全国的に高く、特に北日本でかなり高かった。

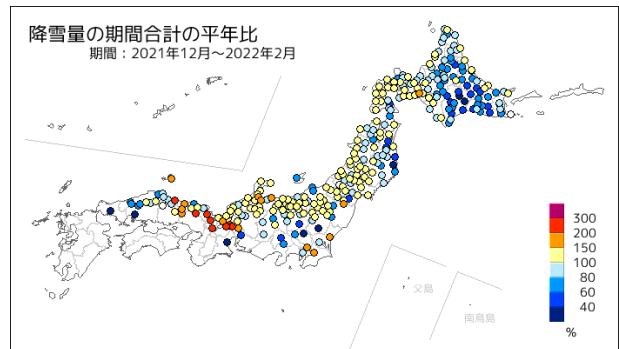
春から秋にかけて全国的に気温の高い状態が続き、低温は一時的だったため、年平均気温は全国的に高く、特に北日本でかなり高かった。夏の平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美で暖かい空気に覆われやすかったためかなり高く、西日本では平年差+0.9℃と、1946年の統計開始以降1位タイの高温を記録した。盛夏期と比べても強い太平洋高気圧に覆われた6月下旬から7月上旬の高温が顕著で、6月下旬には東・西日本、7月上旬には北日本で、1946年の統計開始以降、当該旬として1位の記録的な高温となった。また、秋の平均気温は全国的にかなり高く、特に11月は寒気の影響が弱かったため、東日本の11月の月平均気温平年差は+1.7℃と、1946年の統計開始以降最も高かった。



○ 2021年12月～2022年2月は東・西日本では低温となり、日本海側を中心に大雪となった。

2021年12月下旬以降、日本付近に強い寒気が流れ込むことが多かったため、北日本から西日本の日本海側を中心にしばしば大雪となった。冬の降雪量は日本海側を中心に平年値を上回り、特に西日本では平年値の2倍を超えた所があった。冬の最深積雪は新潟県津南で419cmを記録するなど、全国331地点中12地点で記録を更新した。気温は12月下旬以降、東・西日本を中心に平年を下回る傾向が続き、東・西日本では寒冬となった。

降雪量平年比(%) (2021年12月～2022年2月)

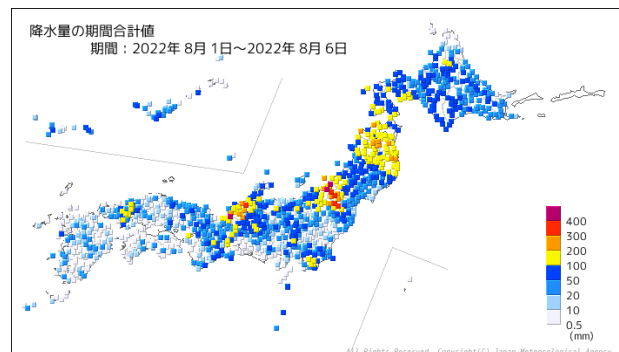


白丸は平年比が100%であることを示す。  
冬の値が0cmまたは平年値が3cm未満の地点は描画していない。

○ 8月は北・東日本で不順な天候となった。

8月上旬から中旬を中心に梅雨前線や湿った空気の影響を受け、北・東日本では曇りや雨の日が続く不順な天候となり、多雨寡照となった。東北北部・南部と北陸地方では梅雨明けが特定できなかった。8月上旬に梅雨前線の活動が活発となったため、北日本と東日本日本海側を中心に線状降水帯が発生するなど記録的な大雨となり、山形県と新潟県を対象に大雨特別警報を発表した。

降水量の期間合計値 (2022年8月1日～8月6日)



## 1-2 主な気象災害

ここでは、令和4年(2022年)に発生し、人的被害や社会活動に大きな影響があった主な気象災害の概況について、おおむね発生期日順に災害番号(括弧内番号)を付けて記述する。また、災害番号に続けて、災害期日:地域、( )内に災害の種別、< >内に気圧配置等の気象状況を記す。主な気象災害の一覧を表1.1に示す。

なお、被害の具体的な数値は、以下の情報を参考に記載した。

- ・内閣府、総務省消防庁、国土交通省による被害状況のとりまとめ資料
- ・国や都道府県の防災機関等から被害状況を入手し、気象庁でとりまとめた資料
- ・気象庁が行った突風の被害状況等調査報告

表 1.1 主な気象災害の一覧表

災害番号	災害をもたらした現象の期日	地域	災害の種別	気象状況
(1)	1月6日	関東地方	大雪	南岸低気圧
(2)	2月5日～2月6日	西日本 東日本 北日本	大雪	冬型
(3)	5月27日	静岡県	突風	大気不安定
(4)	6月2日～6月3日	関東地方	大雨、その他	大気不安定
(5)	7月1日～7月6日	全国	大雨、暴風、 高波	台風第4号
(6)	7月12日～7月13日	埼玉県	大雨	大気不安定
(7)	7月14日～7月20日	全国	大雨	梅雨前線、低気圧
(8)	8月1日～8月22日	全国	大雨、暴風	前線、低気圧、台風第8号
(9)	8月29日～9月6日	全国	大雨、暴風、 高波、高潮	台風第11号、前線
(10)	9月17日～9月20日	全国	大雨、暴風、 高波、高潮、 突風	台風第14号
(11)	9月22日～9月24日	西日本 東日本 北日本	大雨	台風第15号
(12)	12月13日	新潟県	突風	大気不安定
(13)	12月17日～12月19日	全国	大雪、暴風雪、 高波	冬型、低気圧
(14)	12月22日～12月26日	西日本 東日本 北日本	大雪、暴風雪、 高波	冬型、低気圧

### (1)1月6日:関東地方(大雪)<南岸低気圧>

1月6日は、日本の南岸を東へ進んだ前線を伴った低気圧の影響で、沖縄・奄美から東日本にかけて雨や雪となり、関東地方では平地を中心に大雪となった。この大雪により、多数の負傷者が出るなど人的被害が発生したほか、道路の通行止め、鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。(被害状況は気象庁から関係機関への聞き取り等による。)

[日降雪量5センチ以上を観測した主な地点(単位:センチ)] ※対象地域における観測地点のみ掲載

1月6日

東京都千代田区東京(トウキョウ)	10	茨城県つくば市つくば(ツクバ)	8
神奈川県横浜市中区横浜(ヨコハマ)	8	千葉県千葉市中央区千葉(チバ)	7

### (2)2月5日～2月6日:西日本～北日本(大雪)<冬型>

2月5日から6日にかけて、上空に強い寒気が流れ込んだ影響で強い冬型の気圧配置(以下、「冬型」という。)が続き、西日本から北日本では日本海側を中心に大雪となった。岐阜県や滋賀県の平地でも大雪となったほか、北海道の石狩地方では局地的に雪雲がかかり続け、北海道札幌市中央区で24時間降雪量60センチを観測し、1999年の統計開始以来で観測史上1位の値を更新するなど大雪となった。

これらの影響で、道路の通行止め、鉄道の運休、航空機の欠航等の交通障害が発生したほか、除雪作業中の事故などによる人的被害が発生した。(被害状況は気象庁から関係機関への聞き取り等による。)

[日降雪量50センチ以上を観測した主な地点(単位:センチ)]

2月5日

長野県野沢温泉村野沢温泉(ノザワオンセン)	70	新潟県妙高市関山(セキヤマ)	70
兵庫県香美町兎和野高原(ウノコウゲン)	61	滋賀県長浜市柳ヶ瀬(ヤナガセ)	58
岐阜県関ヶ原町関ヶ原(セキガハラ)	50		

2月6日

長野県野沢温泉村野沢温泉(ノザワオンセン)	53
-----------------------	----

### (3)5月27日:静岡県(突風)<大気不安定>

5月27日は、上空の寒気や暖かく湿った空気の影響で東日本から北日本にかけて雨となり、静岡県では大気の状態が非常に不安定となった。静岡県富士市では日本版改良藤田スケールでJEF1の強さの突風が発生し、負傷者1名の人的被害が発生したほか、倉庫や住家の被害が発生した。(被害の状況は令和4年8月10日の静岡地方气象台による現地災害調査報告による。)

※最大風速20メートル以上を観測した地点はなし。

### (4)6月2日～6月3日:関東地方(大雨、その他)<大気不安定>

6月2日から3日にかけて、上空の寒気や日中の気温の上昇の影響で大気の状態が非常に不安定となり、関東甲信地方から東北地方にかけて雨や雷雨となった。局地的に大雨となったほか、関東地方を中心にひょうの降った所があった。このため、関東地方を中心に人的被害や住家被害、農業被害が発生した。(被害の状況は令和4年6月7日の熊谷地方气象台による気象速報、令和4年8月29日の埼玉県及び熊谷地方气象台による埼玉県農業気象災害速報、気象庁から関係機関への聞き取り等による。)

※関東地方では日降水量100ミリ以上を観測した地点はなし。

### (5)7月1日～7月6日:全国(大雨、暴風、高波)<台風第4号>

7月1日03時にフィリピンの東海上で発生した台風第4号は北上し、2日15時に沖縄本島付近に接近した。

2日23時頃に沖縄本島付近を北西へ進んで通過し、東シナ海で進路を北東に変え、5日06時前に長崎県佐世保市付近に上陸した。台風は5日09時まで九州北部地方で温帯低気圧に変わって東へ進み、瀬戸内海、紀伊半島を通して、太平洋に進んだ。

台風第4号や台風から変わった温帯低気圧の影響により全国的に雨となり、四国地方の多いところで日降水量が300ミリを、近畿地方では200ミリを超える大雨となった。また、沖縄地方では風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。

このため、土砂災害、河川の氾濫、浸水害等が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また、道路の通行止め、鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。(被害の状況は令和4年7月6日の内閣府とりまとめ等による。)

[日降水量100ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

7月3日

宮崎県日南市深瀬(フカセ)	174.5	兵庫県丹波市柏原(カイバラ)	164.5
京都府京丹波町須知(シュウチ)	161.5	鹿児島県肝付町内之浦(ウチノウラ)	156.0
高知県室戸市室戸岬(ムロトサキ)	129.5	滋賀県彦根市彦根(ヒコネ)	111.0
福井県福井市福井(フクイ)	102.5		

7月4日

高知県四万十町窪川(コボカワ)	375.0	愛媛県愛南町御荘(ミショウ)	225.0
宮崎県宮崎市赤江(アカエ)	180.0	富山県南砺市五箇山(ゴカヤマ)	178.5
鹿児島県鹿屋市鹿屋(カノヤ)	168.0	徳島県海陽町海陽(カイヨウ)	153.0
大分県佐伯市蒲江(カマエ)	149.5	岐阜県飛騨市河合(カワイ)	143.5
和歌山県白浜町日置川(ヒキガワ)	131.5	長野県王滝村御嶽山(オンタケサン)	100.0

7月5日

高知県馬路村魚梁瀬(ヤナセ)	234.0	和歌山県古座川町西川(ニシカワ)	224.0
徳島県美波町日和佐(ヒワサ)	185.5	東京都八丈町八丈島(ハチジョウジマ)	152.5
福岡県大牟田市大牟田(オオムタ)	128.0	三重県御浜町御浜(ミハマ)	122.5
宮崎県えびの市えびの(エビノ)	120.0	熊本県阿蘇市阿蘇乙姫(アソオトヒメ)	119.0
広島県庄原市庄原(ショバラ)	100.5	奈良県十津川村葛川(クスガワ)	100.0

[最大風速20メートル以上を観測した主な地点(単位:メートル)]

7月2日

沖縄県北大東村北大東(キタダイトウ)	21.1
--------------------	------

### **(6)7月12日～7月13日:埼玉県(大雨)<大気不安定>**

7月12日から13日は、上空の寒気や暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が不安定となり、西日本から北日本では雨や雷雨となった。埼玉県では各地で雷雨となり、長時間にわたって発達した雨雲が停滞した鳩山町を中心に記録的な大雨となり(鳩山町では12日17時から20時までの3時間降水量が263.5ミリ)、土砂災害や浸水害が発生し、負傷者1名の人的被害が発生した。(被害の状況は令和4年7月15日の熊谷地方気象台による気象速報による。)

[日降水量100ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

7月12日

埼玉県鳩山町鳩山(ハヤマ)	374.5	愛知県大府市大府(オオフ)	181.0
兵庫県神戸市中央区神戸(コウベ)	143.0	新潟県上越市安塚(ヤスヅカ)	129.0
群馬県館林市館林(タテバヤシ)	126.5	京都府福知山市福知山(フクチヤマ)	117.0



三重県四日市市四日市(ヨッカイチ)	106.5
7月13日	
宮城県仙台市泉区泉ヶ岳(イズミカタケ)	192.5

**(7)7月14日～7月20日:全国(大雨)<梅雨前線、低気圧>**

7月14日から16日にかけては、本州付近に停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となったため、西日本から北日本にかけての広い範囲で雨や雷雨となった。奄美地方から北日本にかけての広い範囲で大雨となり、九州では多いところで日降水量が200ミリを超える大雨となったほか、宮城県では発達した雨雲が停滞したため15日夜遅くから16日未明にかけて局地的に猛烈な雨が降り、大崎市では3時間降水量等で観測史上1位の値を更新した。また、17日は前線上に発生した低気圧の接近に伴い北海道太平洋側で大雨となり、北海道釧路市では日降水量が7月としての1位の値を更新した。

18日から20日にかけては、前線を伴った低気圧が黄海から日本海を東へ進み、東北地方を通過した。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、西日本から東日本にかけて大気の状態が非常に不安定となって全国的に雨となった。九州では18日午後から19日明け方にかけて線状降水帯による猛烈な雨が降り、多いところで日降水量が200ミリを超える大雨となったほか、中国地方から東北地方にかけての広い範囲で、多いところで日降水量が100ミリを超える大雨となった。

これらの大雨により、宮城県を中心に、床上、床下浸水が多数発生するなど、各地で土砂災害や河川の増水や氾濫、浸水害等が発生し、人的被害や住家被害が発生した。(被害の状況は令和4年7月26日の内閣府とりまとめ等による。)

[日降水量100ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

7月14日			
山口県萩市須佐(スサ)	107.5		
7月15日			
宮城県えびの市えびの(エビノ)	288.5	熊本県人吉市人吉(ヒトヨシ)	236.0
鹿児島県霧島市溝辺(ミゾヘ)	229.5	群馬県高崎市榛名山(ハルナサン)	175.5
東京都利島村利島(トシマ)	123.0	長崎県長崎市長浦岳(ナガウラダケ)	119.0
栃木県日光市今市(イマイチ)	108.5	宮城県大衡村大衡(オオヒラ)	108.0
神奈川県平塚市平塚(ヒラツカ)	102.0	静岡県御前崎市御前崎(オマエザキ)	101.5
7月16日			
宮城県大崎市古川(フルカワ)	196.5	静岡県藤枝市高根山(タカネサン)	149.5
岩手県釜石市釜石(カマイシ)	146.0	鹿児島県肝付町肝付前田(キモツキマエタ)	142.5
和歌山県串本町潮岬(シオハサキ)	133.5	愛媛県大洲市大洲(オオス)	105.5
宮城県日南市深瀬(フカセ)	100.5		
7月17日			
北海道標津町糸櫛別(イトクシベツ)	143.5	北海道釧路市釧路(クシロ)	129.5
鹿児島県奄美市名瀬(ナゼ)	102.0		
7月18日			
長崎県対馬市美津島(ミツシマ)	251.0	福岡県福岡市西区小呂島(オロシマ)	168.0
山口県美祢市東厚保(ヒガシアツ)	151.5	新潟県村上市村上(ムラカミ)	109.5
7月19日			
大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ)	211.0	熊本県山鹿市鹿北(カホク)	197.5
福岡県久留米市久留米(クルメ)	184.5	静岡県伊豆市天城山(アマキサン)	179.5

京都府京都市中京区京都(キョウト)	167.5	宮崎県えびの市えびの(エビノ)	163.5
山口県萩市萩(ハギ)	146.0	滋賀県近江八幡市近江八幡(オウミハチマン)	133.5
広島県安芸太田町内黒山(ウチグロヤマ)	119.5	秋田県男鹿市男鹿真山(オガシンザン)	114.0
長野県王滝村御嶽山(オンタケサン)	111.5	島根県益田市高津(タカツ)	109.5
岐阜県大垣市上石津(カミイヅツ)	105.0	鳥取県大山町大山(ダイセン)	105.0
7月20日			
鹿児島県霧島市溝辺(ミゾベ)	205.0	宮崎県宮崎市田野(タノ)	110.5

### (8)8月1日～8月22日:全国(大雨、暴風)＜前線、低気圧、台風第8号＞

8月1日から6日にかけては、日本海から東北地方や北陸地方にのびる前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となり、北日本や北陸地方を中心に大雨となった。3日から4日にかけては東北南部から新潟県にかけて前線が停滞し、活動が活発化した。複数の線状降水帯が発生するなどしたため、雷を伴った猛烈な雨が断続的に降り、多くのアメダス地点で1時間降水量や24時間降水量の観測史上1位の値を更新するなど、東北地方から北陸地方にかけて大雨となった。特に山形県と新潟県では記録的な大雨となり、新潟県では降り始めからの降水量が平年の8月の月降水量の2倍を超えた。前線は次第に南下し、4日は石川県や福井県でも断続的に猛烈な雨が降り記録的な大雨となったほか、5日から6日にかけては福井県や滋賀県、三重県などで大雨となった。

7日から22日にかけても、日本付近に前線が停滞し、前線や前線上の低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだほか、13日には台風第8号が伊豆半島に上陸し、関東地方を横断したため、全国的に雨となった。これら前線や低気圧、台風第8号の影響により、東海地方、東北地方の多いところで日降水量が300ミリを、近畿地方、伊豆諸島、北海道地方では日降水量が200ミリを超える大雨となった。また、伊豆諸島では風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。

これらの大雨の影響で、東日本や北日本を中心に土砂災害、河川の氾濫、浸水害等が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また、停電、断水、電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。(被害の状況は令和4年11月1日の内閣府とりまとめ、気象庁の調べ等による。)

#### 8月1日から8月2日

8月1日から2日は、前線が日本海から北日本に停滞し、前線上の低気圧が北日本を通過した。この低気圧や前線の影響で、北日本を中心に雨となり、北日本では多いところで日降水量が100ミリを超える大雨となった。

[日降水量100ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

8月1日

北海道知内町知内(シウチ)	121.5	青森県大間町大間(オオマ)	104.5
北海道奥尻町奥尻(オクシリ)	104.0		

#### 8月3日から8月6日

8月3日から4日は、東北南部から新潟県にかけて前線が停滞し、活動が活発化した。東北地方や北陸地方では線状降水帯が発生するなどしたため、雷を伴った猛烈な雨が断続的に降り、東北地方から北陸地方にかけて大雨となって、山形県と新潟県では記録的な大雨となった。その後、前線は次第に南下し、4日は石川県や福井県でも断続的に猛烈な雨が降り記録的な大雨となったほか、5日から6日にかけては福井県や滋賀県、三重県などで大雨となった。北陸地方では多いところで日降水量が300ミリを超える大雨となったほか、東北地方では多いところで日降水量が200ミリを、九州北部地方や中国地方、東海地方では多いところで日降水量が100ミリ

を超える大雨となった。

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

8月3日

新潟県村上市高根(タカネ)	395.5	山形県飯豊町高峰(タカミネ)	292.0
福島県福島市鷲倉(ウシクラ)	267.5	青森県平川市碓ヶ関(イカリガセキ)	178.5
秋田県大館市陣場(ジンバ)	169.0	岩手県久慈市久慈(クジ)	145.5

8月4日

石川県白山市白山河内(ハクサンカワチ)	392.0	新潟県関川村下関(シモセキ)	380.0
福井県大野市大野(オオ)	211.0	富山県南砺市五箇山(ゴカヤマ)	149.0
岐阜県揖斐川町揖斐川(イビカワ)	134.0	福島県金山町金山(カネヤマ)	114.0

8月5日

福井県南越前町今庄(イマジョウ)	229.0	山口県岩国市玖珂(クガ)	132.5
広島県安芸太田町内黒山(ウチグロヤマ)	127.0	島根県吉賀町吉賀(ヨシカ)	116.5

### 8月7日から8月11日

8月7日から11日は、高気圧の縁をまわる暖かく湿った空気の流入や、前線が日本海から北日本へのびて停滞した影響で、北日本を中心に雨となり、東北地方では多いところで日降水量が300ミリを超えたほか、東海地方や北海道地方では多いところで日降水量が200ミリを超える大雨となった。

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

8月8日

北海道遠別町遠別(エンベツ)	219.0	北海道中川町中川(ナカガワ)	167.0
北海道函館市高松(タカマツ)	136.5	北海道枝幸町北見枝幸(キタミアサキ)	113.0

8月9日

青森県深浦町深浦(フカウラ)	312.0	秋田県八峰町八森(ハチモリ)	172.5
----------------	-------	----------------	-------

8月10日

青森県今別町今別(イマベツ)	128.5	秋田県北秋田市脇神(ワキガミ)	119.5
----------------	-------	-----------------	-------

8月11日

岐阜県関市関市板取(セキシイタリ)	203.5	北海道新冠町新和(シンワ)	101.0
-------------------	-------	---------------	-------

### 8月12日から8月14日

8月12日から14日は、前線が日本海から北日本に停滞し、13日には台風第8号が伊豆半島に上陸し、関東地方を横断して日本の東の海上へ抜けた。これらの影響により西日本から北日本の広い範囲で雨となり、伊豆諸島では線状降水帯が発生した。東海地方では多いところで日降水量が300ミリを超える大雨となったほか、近畿地方や伊豆諸島では多いところで日降水量が200ミリを、東日本から北日本にかけては多いところで日降水量が100ミリを超える大雨となった。また、伊豆諸島では風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

8月12日

静岡県富士宮市白糸(シライト)	207.0	青森県十和田市休屋(ヤスマヤ)	173.0
秋田県北秋田市鷹巣(タカノ)	158.5	山梨県富士河口湖町河口湖(カワゲチコ)	146.0
愛知県豊根村茶臼山(チャウスヤマ)	139.0	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	108.0

8月13日

静岡県伊豆市天城山(アマギサン)	349.0	東京都大島町大島(オオシマ)	281.0
------------------	-------	----------------	-------

秋田県鹿角市鹿角(カヅノ)	154.0	神奈川県箱根町箱根(ハコネ)	150.0
埼玉県所沢市所沢(トコロザワ)	110.5		

8月14日

和歌山県田辺市本宮(ホンノウ)	268.5	滋賀県長浜市柳ヶ瀬(ヤナガセ)	113.0
新潟県新発田市赤谷(アカタニ)	110.5	岩手県花巻市豊沢(トヨザワ)	102.0

[最大風速 20メートル以上を観測した主な地点(単位:メートル)]

8月13日

東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	21.5		
--------------------	------	--	--

### 8月15日から8月19日

8月15日から19日は、前線が日本付近に停滞し、前線上を低気圧が周期的に通過した。これらの影響により西日本から北日本にかけての広い範囲で雨となり、九州北部地方や近畿地方、東日本、北海道地方では多いところで日降水量が100ミリを超える大雨となった。

[日降水量100ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

8月16日

北海道今金町今金(イマカネ)	174.0	北海道日高町日高(ヒダカ)	159.5
北海道占冠村占冠(シムカップ)	146.5	北海道新得町新得(シントク)	145.5
北海道登別市登別(ノホリベツ)	143.5	北海道八雲町八雲(ヤクモ)	136.5
北海道標津町糸櫛別(イトクシベツ)	131.0	奈良県十津川村風屋(カゼヤ)	130.0
福岡県久留米市耳納山(ミノウサン)	122.0	北海道夕張市鹿島(カシマ)	116.0
和歌山県田辺市護摩壇山(ゴマダンザン)	115.5	北海道真狩村真狩(マツカリ)	109.5

8月17日

佐賀県白石町白石(シロイシ)	168.5	長崎県対馬市厳原(イツハラ)	150.5
京都府京田辺市京田辺(キョウタナベ)	141.5	滋賀県甲賀市信楽(シガラキ)	125.5
福岡県八女市黒木(クロキ)	112.5	大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ)	108.0
石川県輪島市三井(ミイ)	100.5		

8月18日

静岡県川根本町川根本町(カワネホンチョウ)	191.0	神奈川県山北町丹沢湖(タンザワコ)	119.5
-----------------------	-------	-------------------	-------

### 8月20日から8月22日

8月20日は、前線を伴った低気圧が北日本付近を通過した影響で、西日本から北日本にかけての広い範囲で雨となり、北陸地方では多いところで日降水量が100ミリを超える大雨となった。また、21日から22日にかけては、四国沖を東へ進む低気圧の影響で、奄美地方や西日本、東海地方で雨となり、東海地方では多いところで日降水量が200ミリを超える大雨となった。

[日降水量100ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

8月20日

富山県富山市富山(トヤマ)	135.5	石川県羽咋市羽咋(ハウイ)	114.5
---------------	-------	---------------	-------

8月21日

三重県鳥羽市鳥羽(トバ)	160.0	熊本県球磨村一勝地(イツショウチ)	128.5
福岡県福岡市中央区福岡(フクオカ)	125.5	鹿児島県鹿児島市喜入(キイル)	111.0

8月22日

三重県尾鷲市尾鷲(オワセ)	201.5		
---------------	-------	--	--

**(9)8月29日～9月6日:全国(大雨、暴風、高波、高潮)＜台風第11号、前線＞**

8月28日15時に南鳥島近海で発生した台風第11号は、発達しながら小笠原諸島付近を通過して西へ進み、30日21時には南大東島近海で最大勢力となった。東京都小笠原村や沖縄県北大東村では、台風の接近に伴って、それぞれ最大瞬間風速48.4メートルを観測し、8月としての観測史上1位の値を更新した。その後、台風は次第に勢力を弱めつつ進路を南へ変え、9月1日に沖縄の南海上で速度を落とした後、2日に同海域で進路を大きく北へ変えて、4日に再び発達しながら東シナ海を北上した。台風本体の発達した雨雲がかかった沖縄県では総降水量が300ミリを超えたほか、沖縄県や長崎県では風速25メートル以上の非常に強い風を観測し、中国地方や大分県では観測史上1位となる最大瞬間風速を観測した地点があった。また、南西諸島や九州の海上ではうねりを伴った猛烈なしけとなり、中国地方では過去最高潮位を上回る潮位を観測した地点があった。6日には、台風は対馬海峡を通過し、その後勢力を弱めながら日本海を北東へ進み、6日21時までには日本海北部で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧により北海道地方では風速20メートル以上の非常に強い風を観測し、最大瞬間風速が9月としての1位の値を更新した地点があった。

このほか、台風接近前の8月30日頃から本州付近に停滞した前線に向かって台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだため全国的に雨となり、大雨となったところがあった。

台風や前線の影響により、土砂災害、河川の増水や氾濫、浸水害等が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また大規模な停電等、ライフラインへの被害が発生したほか、道路の通行止め、鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。(被害の状況は令和4年9月6日の内閣府とりまとめ等による。)

**8月29日**

8月29日は台風第11号の影響により小笠原諸島で雨となり、風速30メートル以上の猛烈な風を観測した。  
[最大風速20メートル以上を観測した主な地点(単位:メートル)]

東京都小笠原村父島(チチジマ) 31.1

**8月30日から9月3日**

台風第11号が、8月31日に大東島地方に接近し、9月1日に沖縄の南海上で速度を落とした後、2日にかけて沖縄の南に停滞した後進路を大きく北へ変えた。また、本州付近に停滞した前線に向かって台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込み前線の活動が活発化し、西日本から東日本の太平洋側を中心に局地的に猛烈な雨が降るなど、四国地方や東海地方では多いところで日降水量が200ミリを超える大雨となった。また、沖縄地方では風速30メートル以上の猛烈な風を観測した。

[日降水量100ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

**8月30日**

三重県大台町宮川(ミヤガワ) 166.0 愛知県田原市伊良湖(イラコ) 103.5

**8月31日**

愛知県新城市作手(ツケテ) 120.0 岐阜県関市関市板取(セキシイタリ) 112.5  
沖縄県南大東村南大東(ミナミダイウ) 108.0

**9月1日**

三重県南伊勢町南伊勢(ミナミイセ) 155.0 静岡県浜松市天竜区天竜(テンリュウ) 139.5  
岐阜県下呂市金山(カナヤマ) 131.5 秋田県にかほ市にかほ(ニカホ) 115.5  
長野県王滝村御嶽山(オンタケサン) 114.0 和歌山県日高川町川辺(カワヘ) 114.0  
広島県安芸高田市甲田(コウダ) 112.5 香川県多度津町多度津(タツ) 107.5  
神奈川県箱根町箱根(ハコネ) 106.5 石川県羽咋市羽咋(ハウイ) 102.0

沖縄県竹富町西表島(イオモテジマ)	101.5		
9月2日			
三重県南伊勢町南伊勢(ミナミイセ)	147.0	静岡県磐田市磐田(イワタ)	119.0
高知県仁淀川町鳥形山(トリガタヤマ)	116.5	長崎県対馬市厳原(イツハラ)	115.0
9月3日			
三重県志摩市阿児(アゴ)	234.0	高知県津野町船戸(フナト)	231.5
鹿児島県鹿屋市吉ヶ別府(ヨシガベツフ)	158.5	沖縄県那覇市那覇(ナハ)	143.0
宮崎県日向市日向(ヒュウガ)	131.5	岐阜県下呂市萩原(ハキワラ)	112.0
京都府京丹後市峰山(ミネヤマ)	103.5		

[最大風速 20メートル以上を観測した主な地点(単位:メートル)]

8月31日			
沖縄県北大東村北大東(キタダイトウ)	37.5		
9月1日			
沖縄県与那国町所野(トコロ)	20.6		
9月3日			
沖縄県宮古島市下地島(シモジシマ)	25.9	沖縄県久米島町北原(キタハラ)	24.4
沖縄県与那国町所野(トコロ)	23.7		

#### 9月4日から9月5日

台風第11号は、9月4日は再び発達しながら東シナ海を北上し、5日にかけて対馬海峡付近へ進んだ。このため、沖縄・奄美から四国地方を中心に雨となり、多いところで日降水量が100ミリを超える大雨となった。また、沖縄地方や九州北部地方では風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。

[日降水量100ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

9月4日			
沖縄県宮古島市城辺(グスクヘ)	237.5	沖縄県国頭村国頭(クニガミ)	190.0
沖縄県石垣市盛山(モリヤマ)	163.5		
9月5日			
宮崎県西米良村西米良(ニシメラ)	137.0	高知県仁淀川町鳥形山(トリガタヤマ)	104.0
鹿児島県薩摩川内市川内(センガイ)	103.0		

[最大風速 20メートル以上を観測した主な地点(単位:メートル)]

9月4日			
沖縄県久米島町北原(キタハラ)	27.5	沖縄県宮古島市鏡原(カガミハラ)	27.2
沖縄県石垣市石垣島(イシガキシマ)	23.8		
9月5日			
長崎県五島市上大津(カミオツ)	21.8	沖縄県久米島町北原(キタハラ)	21.8

#### 9月6日

9月6日は、台風は対馬海峡を通過し、その後勢力を弱めながら日本海を北東へ進み、21時までに日本海北部で温帯低気圧に変わった。このため、沖縄・奄美から北陸地方で雨となり、四国地方では多いところで日降水量が100ミリを超える大雨となった。また、西日本や北海道地方では風速20メートル以上の非常に強い風を観測

した。

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

9月6日

徳島県上勝町福原旭(フクハラアサヒ)	134.5	高知県仁淀川町池川(イケガワ)	112.5
--------------------	-------	-----------------	-------

[最大風速 20 メートル以上を観測した主な地点(単位:メートル)]

9月6日

長崎県対馬市厳原(イツハラ)	28.1	愛媛県伊方町瀬戸(セト)	24.7
大分県佐伯市蒲江(カマエ)	21.8	福岡県福岡市博多区博多(ハカタ)	21.7
北海道奥尻町米岡(ヨネオカ)	20.9	福井県敦賀市敦賀(ツルガ)	20.8
和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	20.4		

### (10)9月17日～9月20日:全国(大雨、暴風、高波、高潮、突風)＜台風第14号＞

9月14日03時に小笠原近海で発生した台風第14号は、日本の南を北西へ進み、17日03時には大型で猛烈な強さまで急速に発達した。台風は18日19時頃に、大型で非常に強い勢力で鹿児島県に上陸し、19日朝にかけて九州を縦断した。その後、進路を東寄りに変え、中国地方から日本海を進み、20日03時まで日本海で温帯低気圧に変わった。

この台風の接近、通過、上陸により、九州を中心に西日本から北日本の広い範囲で最大風速20メートル以上の非常に強い風を観測するなど各地で暴風となり、鹿児島県屋久島町では最大瞬間風速50.9メートルを観測したほか、西日本の多くの地点で、最大瞬間風速の観測史上1位の値を更新した。海上は猛烈なしけや大しけとなり、警報基準を超える高潮となったところがあった。台風の発達した雨雲がかかった西日本を中心に大雨となった。宮崎県では17日から20日にかけての降水量が多いところで900ミリを超えるなど、九州や四国地方の複数の地点で平年の9月の月降水量の2倍前後となった。

この台風により、西日本を中心に土砂災害、河川の増水や氾濫、浸水害等が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また、大規模な停電、断水、電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、道路の通行止め、鉄道の運休、航空機の欠航等の交通障害が発生した。また、18日には、静岡県牧之原市において日本版改良藤田スケールでJEF0の強さの竜巻とみられる突風が複数発生し、負傷者2名の人的被害が発生した。(被害の状況は令和4年11月2日の内閣府とりまとめ等による。)

### 9月17日から9月18日

台風第14号は、9月17日に大型で猛烈な勢力で大東島地方に最も接近した後、18日13時半頃には大型で非常に強い勢力で屋久島付近を通過し、ほとんど勢力を維持して19時頃に鹿児島県鹿児島市付近に上陸した。台風周辺や台風本体の発達した雨雲が長時間かかり、線状降水帯も発生したため、九州や四国地方を中心に大雨となった。線状降水帯が発生した宮崎県では日降水量が600ミリを超えたほか、九州や四国地方では多いところで日降水量が400ミリを超える大雨となった。また、鹿児島県屋久島町で最大風速36.6メートルの猛烈な風(最大瞬間風速50.9メートル)を観測し、九州から四国地方にかけて風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。さらに、台風から離れた東日本太平洋側でも暖かく湿った空気が流れ込み、多いところで日降水量が100ミリを超える大雨となった。

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

9月17日

宮崎県諸塚村諸塚(モツツカ)	153.5	三重県大台町宮川(ミヤガワ)	122.0
鹿児島県瀬戸内町古仁屋(コニヤ)	119.0	奈良県十津川村葛川(クスガワ)	117.5
和歌山県那智勝浦町色川(イロカワ)	113.5		

9月18日

宮崎県美郷町神門(ミカト)	694.5	熊本県湯前町湯前横谷(ユノマエヨコタニ)	453.0
高知県梶原町梶原(ユスハラ)	444.0	大分県佐伯市宇目(ウメ)	408.0
鹿児島県錦江町田代(タシロ)	371.5	愛媛県内子町獅子越峠(シシゴエトウゲ)	362.0
福岡県添田町添田(ソエダ)	347.0	神奈川県山北町丹沢湖(タンザワコ)	255.0
長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	225.5	徳島県那賀町木頭(キトウ)	189.0
静岡県伊豆市天城山(アマギサン)	156.5	和歌山県田辺市本宮(ホングウ)	121.0
東京都八王子市八王子(ハチオウジ)	119.5	山口県岩国市玖珂(クガ)	118.5
千葉県市原市牛久(ウシク)	118.0	奈良県十津川村葛川(クスガワ)	112.0
埼玉県越谷市越谷(コシガヤ)	109.5	佐賀県唐津市唐津(カラツ)	101.5

[最大風速 20 メートル以上を観測した主な地点(単位:メートル)]

9月18日

鹿児島県屋久島町屋久島(ヤクシマ)	36.6	宮崎県宮崎市赤江(アカエ)	28.2
熊本県益城町益城(マシキ)	26.3	高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	24.7
大分県佐伯市蒲江(カマエ)	23.6	長崎県五島市上大津(カミオツ)	22.8
福岡県北九州市小倉南区空港北町(クウコウキタマチ)	20.9		
山口県宇部市宇部(ウヘ)	20.2		

9月19日から9月20日

台風第14号は、次第に勢力を弱めながら九州を縦断し、その後進路を東寄りに変えて、中国地方から日本海を進んだ。20日03時までには日本海で温帯低気圧に変わり、台風から変わった温帯低気圧や前線が本州を通過した。この影響で、西日本から北日本で雨となり、九州北部地方、四国地方、中国地方の多いところで日降水量が300ミリを超える大雨となったほか、東日本の多いところで日降水量が100ミリを超える大雨となった。また、西日本、北陸地方では風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。

[日降水量100ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

9月19日

山口県岩国市羅漢山(ラカンザン)	338.5	高知県馬路村魚梁瀬(ヤナセ)	337.5
広島県安芸太田町内黒山(ウチグロヤマ)	304.5	愛媛県西条市成就社(ジョウジュシヤ)	302.0
徳島県三好市京上(キョウジョウ)	286.5	島根県吉賀町吉賀(ヨシカ)	223.0
宮崎県えびの市えびの(エビノ)	216.5	山梨県甲府市古関(フルセキ)	215.5
岡山県鏡野町恩原(オンバラ)	214.0	熊本県五木村五木(イツキ)	214.0
奈良県十津川村葛川(クスガワ)	197.5	三重県大台町宮川(ミヤガワ)	190.5
大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ)	183.0	静岡県静岡市葵区井川(イカワ)	168.0
福岡県添田町英彦山(ヒコサン)	161.0	鹿児島県さつま町紫尾山(シビサン)	148.0
鳥取県鳥取市佐治(サジ)	145.5	佐賀県佐賀市北山(ホクサン)	143.0
和歌山県田辺市龍神(リュウジン)	125.0	兵庫県養父市大屋(オオヤ)	114.5
愛知県豊田市阿蔵(アゾウ)	100.5		

9月20日

長野県王滝村御嶽山(オンタケサン)	110.5	石川県加賀市加賀菅谷(カガスカタニ)	107.0
愛知県豊根村茶臼山(チャウスヤマ)	105.5		



[最大風速 20 メートル以上を観測した主な地点(単位:メートル)]

9 月 19 日

和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	29.7	愛媛県伊方町瀬戸(セト)	28.6
高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	26.6	大分県佐伯市蒲江(カマエ)	26.0
山口県宇部市宇部(ウヘ)	24.7	兵庫県明石市明石(アカシ)	23.9
長崎県壱岐市石田(インダ)	23.3	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	23.2
福岡県北九州市小倉南区空港北町(クウコウキタマチ)	22.6		
島根県出雲市斐川(ヒカリ)	22.4	佐賀県佐賀市佐賀(サガ)	20.4

9 月 20 日

石川県輪島市輪島(ワジマ)	24.7	新潟県佐渡市弾崎(ハジキサキ)	22.9
---------------	------	-----------------	------

### (11)9 月 22 日～9 月 24 日:西日本～北日本(大雨)<台風第 15 号>

9 月 22 日 09 時に日本の南で発生した台風第 15 号は、北上して紀伊半島に接近し、23 日 21 時に紀伊半島の南で熱帯低気圧に変わった。その後、熱帯低気圧は北東へ進み、24 日 09 時までには東海道沖で温帯低気圧に変わった。台風や台風から変わった熱帯低気圧及び温帯低気圧の影響で、四国地方から北日本では雨となり、東海地方を中心に大雨となった。静岡県や愛知県では 23 日夕方から 24 日明け方にかけて、複数の線状降水帯が発生し、雷を伴った猛烈な雨が降って記録的な大雨となった。特に静岡県では、猛烈な雨が降り続き、記録的短時間大雨情報を多数発表したほか、複数の地点で 24 時間降水量が 400 ミリを超えて平年の 9 月の月降水量を上回り、観測史上 1 位の値を更新した。

この大雨により、静岡県を中心に土砂災害、河川の増水や氾濫、浸水害が発生し、人的被害や住家被害が発生したほか、停電や断水等ライフラインへの被害や鉄道の運休等の交通障害が発生した。(被害の状況は令和 4 年 11 月 2 日の内閣府とりまとめ等による。)

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

9 月 22 日

和歌山県新宮市新宮(シングウ)	138.5
-----------------	-------

9 月 23 日

静岡県森町三倉(ミクラ)	321.5	三重県志摩市阿児(アゴ)	268.5
愛知県田原市伊良湖(イラコ)	227.0	山梨県南部町南部(ナンブ)	181.0
高知県馬路村魚梁瀬(ヤナセ)	133.0	和歌山県串本町潮岬(シオミサキ)	132.0
長野県王滝村御嶽山(オウタケサン)	116.5	岐阜県白川町黒川(クロカワ)	110.5
奈良県上北山村上北山(カミキタヤマ)	105.0		

9 月 24 日

静岡県伊豆市天城山(アマギサン)	257.0	東京都大島町大島北ノ山(オオシマキタノヤマ)	183.5
栃木県宇都宮市宇都宮(ウツミヤ)	164.0	千葉県横芝光町横芝光(ヨコシハヒカリ)	106.0
岩手県宮古市区界(クザカイ)	101.0		

### (12)12 月 13 日:新潟県(突風)<大気不安定>

12 月 13 日は、日本海の前線を伴った低気圧の影響で、西日本から北日本にかけて雨となった。新潟県は低気圧からのびる寒冷前線の通過に伴って大気の状態が非常に不安定となり、新潟県佐渡市では日本版改良藤田スケールで JEF2 の強さの竜巻とみられる突風が発生し、半壊 2 棟、一部損壊 22 棟の住家被害が発生した。(被害の状況は令和 5 年 1 月 30 日の新潟県地方気象台による現地災害調査報告による。)

※新潟県では最大風速 20 メートル以上を観測した地点はなし。

**(13)12月17日～12月19日:全国(大雪、暴風雪、高波)＜冬型、低気圧＞**

12月17日から19日にかけて、上空に強い寒気が流れ込んだ影響で強い冬型が続き、西日本から北日本では日本海側を中心に大雪となった。新潟県では一時的に降雪が強まったほか、福島県会津や山形県では、19日までの24時間降雪量が100センチを超えて、観測史上1位の値を更新した。九州や四国地方の山地でも大雪となり、平野部でも降雪や積雪となった。また、沖縄地方や九州南部、北日本では風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。

これらの影響で、新潟県で車両の立ち往生が発生し多くの高速道路や一般道で通行止めとなるなど、北陸地方や東北地方を中心に道路の通行止め、鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。また、停電や断水等ライフラインに被害が発生したほか、除雪作業中の事故などによる人的被害が発生した。(被害の状況は令和4年12月22日の内閣府とりまとめによる。)

[日降雪量50センチ以上を観測した主な地点(単位:センチ)]

12月18日

山形県大蔵村肘折(ヒジオリ)	99	福島県金山町金山(カネヤマ)	92
新潟県阿賀町津川(ツガワ)	84	秋田県湯沢市湯沢(ユザワ)	52
福井県大野市九頭竜(クスリユウ)	51		

12月19日

新潟県魚沼市守門(スモン)	89	福島県只見町只見(タダミ)	61
---------------	----	---------------	----

[最大風速20メートル以上を観測した主な地点(単位:メートル)]

12月17日

山形県酒田市飛鳥(トビシマ)	20.2	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	20.1
沖縄県与那国町所野(トコロ)	20.1		

12月18日

山形県酒田市飛鳥(トビシマ)	22.5	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	21.2
秋田県八峰町八森(ハチモリ)	20.5	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	20.0

12月19日

山形県酒田市飛鳥(トビシマ)	21.3		
----------------	------	--	--

**(14)12月22日～12月26日:西日本～北日本(大雪、暴風雪、高波)＜冬型、低気圧＞**

12月22日から24日にかけて日本付近で低気圧が発達し、その後に低気圧は日本から離れて、日本付近は26日にかけて冬型となった。北日本から西日本の広い範囲で大雪となり、北日本や東日本では降雪が強まったところがあった。また、普段比較的雪の少ない西日本太平洋側や東海地方の平地でも大雪となり、高知県高知市では最深積雪が14センチと観測史上1位の値を更新する積雪となった。さらに全国的に風が強まり、西日本から北日本にかけての広い範囲で風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。これらの影響で、道路の通行止め、鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。また、停電等ライフラインに被害が発生したほか、除雪作業中の事故などによる人的被害が発生した。(被害の状況は令和4年12月26日の内閣府とりまとめによる。)

[日降雪量50センチ以上を観測した主な地点(単位:センチ)]

12月23日

山形県小国町小国(オグニ)	96	新潟県関川村下関(シモセキ)	78
北海道音威子府村音威子府(オイネツ)	76	北海道遠軽町白滝(シラタキ)	71
北海道天塩町天塩(テシオ)	60	秋田県湯沢市湯の岱(ユノタイ)	60

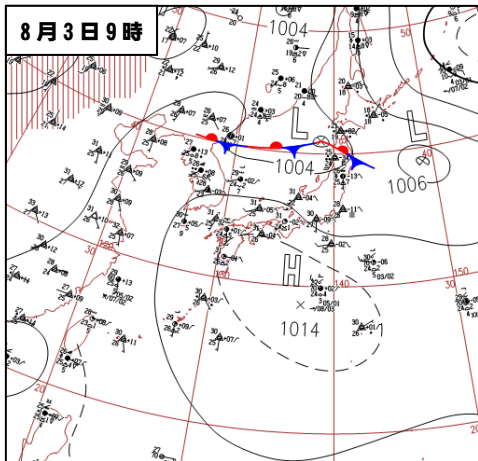
北海道中頓別町中頓別(ナカトンベツ)	54	富山県高岡市伏木(フシキ)	50
12月24日			
福島県檜枝岐村檜枝岐(ヒノエマダ)	56		
[最大風速 20メートル以上を観測した主な地点(単位:メートル)]			
12月22日			
北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	35.0	山形県酒田市飛島(トビシマ)	26.2
北海道根室市納沙布(ノサップ)	22.2	北海道稚内市宗谷岬(ソウヤミサキ)	22.1
新潟県佐渡市相川(アイカワ)	20.9	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	20.0
12月23日			
北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	31.9	山形県酒田市飛島(トビシマ)	27.9
北海道根室市納沙布(ノサップ)	23.8	北海道稚内市宗谷岬(ソウヤミサキ)	23.3
新潟県佐渡市相川(アイカワ)	22.7	大分県豊後高田市豊後高田(フンゴウタカダ)	21.9
長崎県対馬市鱒浦(ワニウラ)	20.4	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	20.4
秋田県にかほ市にかほ(ニカホ)	20.2	北海道釧路市釧路(クシロ)	20.1
12月24日			
山形県酒田市飛島(トビシマ)	22.9	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	21.3
北海道稚内市稚内(ワッカナイ)	20.6		

資料 1-2-1 主な気象災害に対応する気象資料

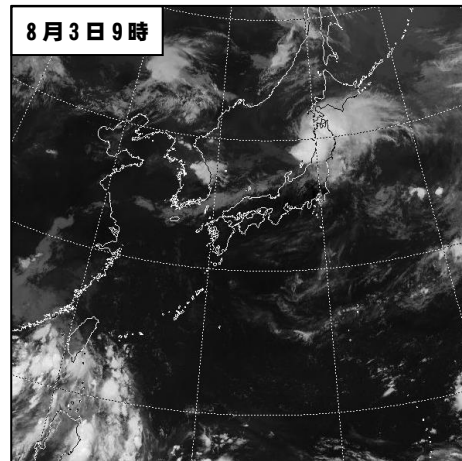
○ 災害番号 (8)

前線による北日本や北陸地方を中心とする大雨 (8月1日~8月6日)

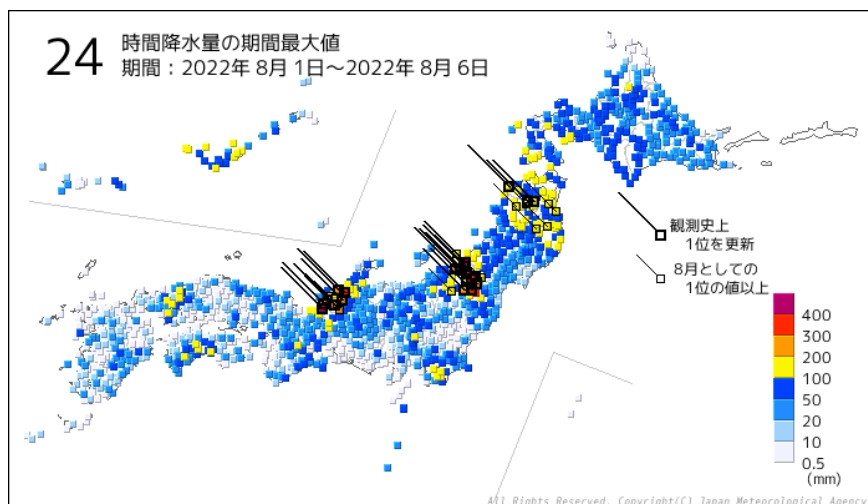
地上天気図



気象衛星画像 (赤外)



期間最大 24 時間降水量分布図 (8月1日~8月6日)



期間最大 24 時間降水量表 (上位 10 地点) (8月1日~8月6日)

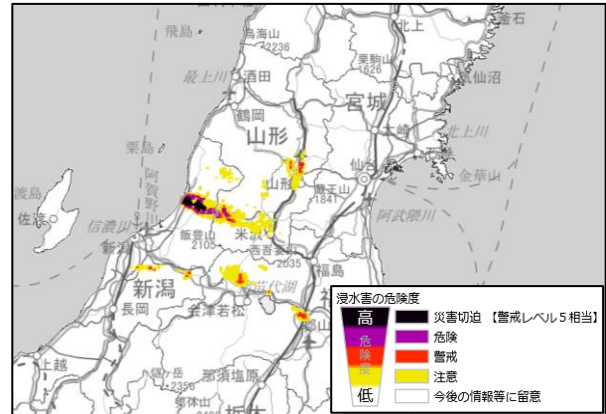
順位	都道府県	市町村	地点名(よみ)	降水量		
				(mm)	月日	時分
1	新潟県	岩船郡関川村	下関(シモセキ)	560.0	2022/8/4	06:20
2	新潟県	村上市	高根(タカネ)	410.0	2022/8/4	06:30
3	福井県	南条郡南越前町	今庄(イマジョウ)	405.5	2022/8/5	09:20
4	石川県	白山市	白山河内(ハクサンカワチ)	397.0	2022/8/4	17:30
5	山形県	西置賜郡小国町	小国(オグニ)	352.5	2022/8/4	07:20
6	福島県	耶麻郡北塩原村	桧原(ヒバラ)	314.5	2022/8/4	07:40
7	福島県	福島市	鷲倉(ワシクラ)	313.0	2022/8/4	08:50
8	山形県	西置賜郡飯豊町	高峰(タカミネ)	306.5	2022/8/4	06:50
9	新潟県	胎内市	中条(ナカジョウ)	288.5	2022/8/4	06:00
10	石川県	白山市	白山白峰(ハクサンシラミネ)	276.0	2022/8/4	19:00

8月4日1時50分（新潟県村上市、関川村に大雨特別警報を発表する直前）におけるキキクル（危険度分布）の状況

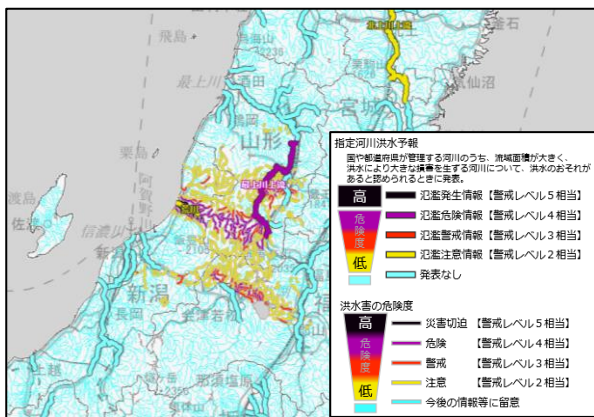
土砂キキクル  
（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）



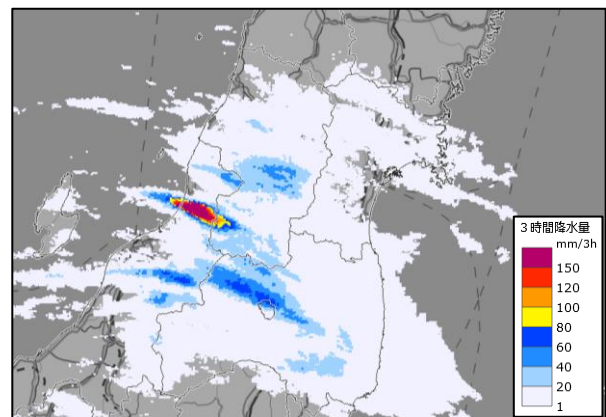
浸水キキクル  
（大雨警報（浸水害）の危険度分布）



洪水キキクル  
（洪水警報の危険度分布）



参考:3時間降水量(解析雨量)

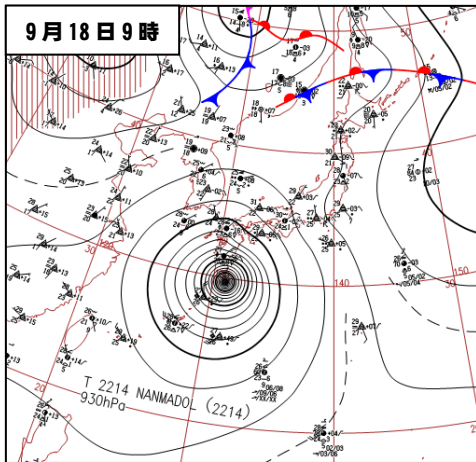


※キキクル(大雨警報・洪水警報の危険度分布)とは、土砂災害、浸水害、洪水災害の発生する危険度の高まりを5段階に色分けして地図表示した情報。大雨警報や洪水警報が発表されたときに実際にどこで危険度が高まっているかを一目で確認できる。

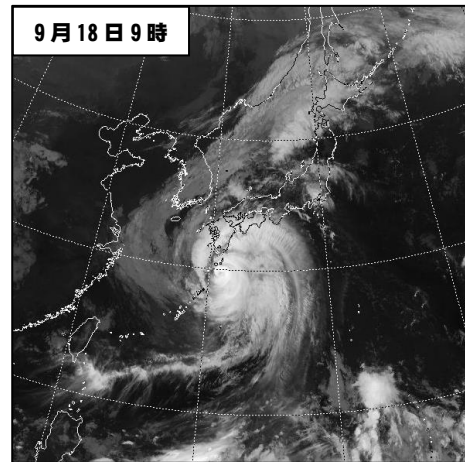
○ 災害番号 (10)

台風第 14 号による暴風や大雨等 (9 月 17 日～9 月 20 日)

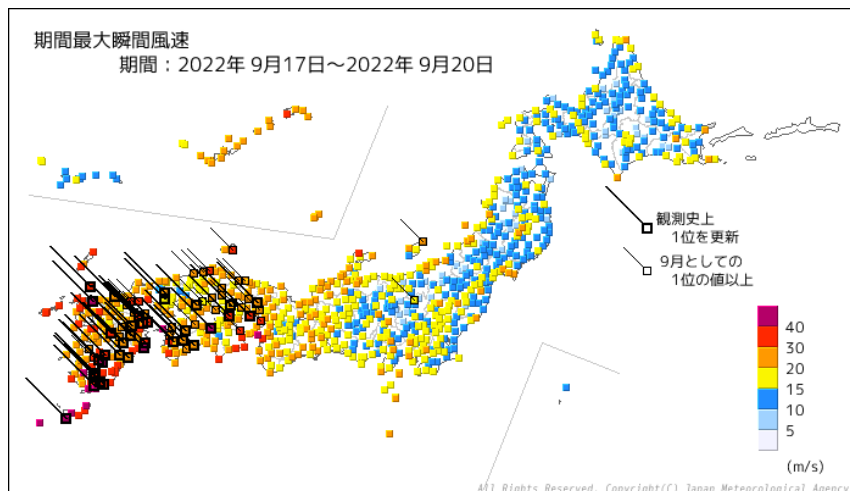
地上天気図



気象衛星画像 (赤外)



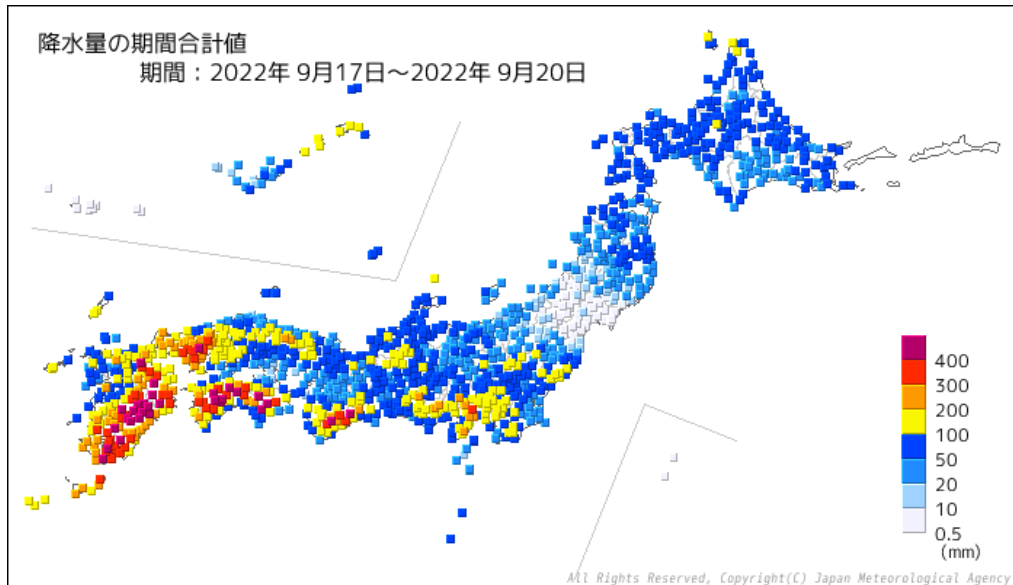
期間最大瞬間風速分布図 (9 月 17 日～9 月 20 日)



期間最大瞬間風速表 (上位 10 地点) (9 月 17 日～9 月 20 日)

順位	都道府県	市町村	地点名(よみ)	風速			
				(m/s)	風向	月日	時分
1	鹿児島県	熊毛郡屋久島町	屋久島(ヤクシマ)	50.9	東北東	2022/9/18	11:51
2	大分県	佐伯市	蒲江(カマエ)	50.4	南南東	2022/9/18	21:14
3	愛媛県	四国中央市	四国中央(シコクチュウオウ)	47.4	東北東	2022/9/19	01:54
4	佐賀県	唐津市	唐津(カラツ)	44.1	北	2022/9/18	22:25
5	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島(カゴシマ)	43.5	北北東	2022/9/18	09:54
5	鹿児島県	熊毛郡屋久島町	尾之間(オノアイダ)	43.5	北北東	2022/9/18	09:09
7	鹿児島県	西之表市	種子島(タネガシマ)	42.8	南南東	2022/9/18	15:29
8	鹿児島県	鹿児島郡十島村	中之島(ナカノシマ)	41.4	西	2022/9/18	11:52
9	宮崎県	小林市	小林(コバヤシ)	41.1	東	2022/9/18	14:11
10	和歌山県	和歌山市	友ヶ島(トモガシマ)	40.9	南南東	2022/9/19	15:06

期間総降水量分布図（9月17日～9月20日）



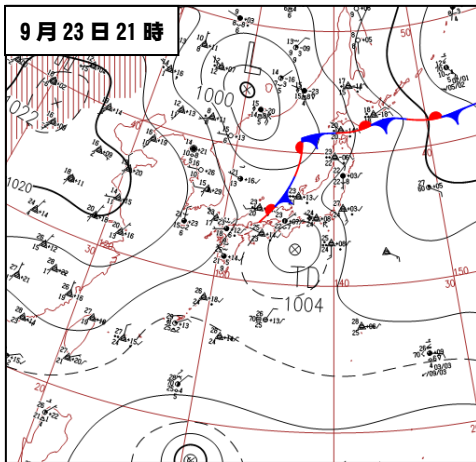
期間総降水量表（上位10地点）（9月17日～9月20日）

順位	都道府県	市町村	地点名(よみ)	降水量
				(mm)
1	宮崎県	えびの市	えびの(エビノ)	903.5
2	宮崎県	東臼杵郡美郷町	神門(ミカド)	880.0
3	宮崎県	東臼杵郡椎葉村	椎葉(シイバ)	766.5
4	宮崎県	東臼杵郡諸塚村	諸塚(モロツカ)	759.5
5	宮崎県	児湯郡西米良村	西米良(ニシメラ)	672.5
6	宮崎県	都城市	都城(ミヤコノジョウ)	669.0
7	高知県	高岡郡檜原町	檜原(ユスハラ)	667.5
8	高知県	安芸郡馬路村	魚梁瀬(ヤナセ)	644.0
9	愛媛県	西条市	成就社(ジョウジュシヤ)	596.0
10	宮崎県	西臼杵郡五ヶ瀬町	鞍岡(クラオカ)	573.5

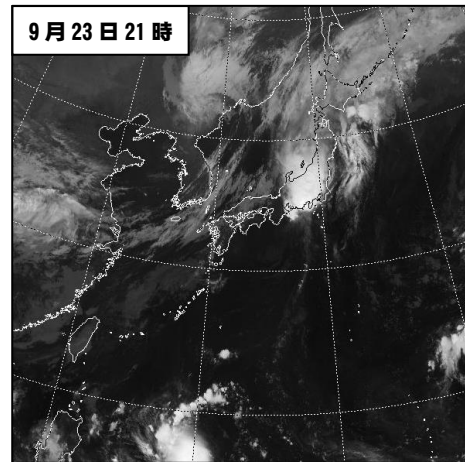
○ 災害番号 (11)

台風第 15 号による大雨 (9 月 22 日～9 月 24 日)

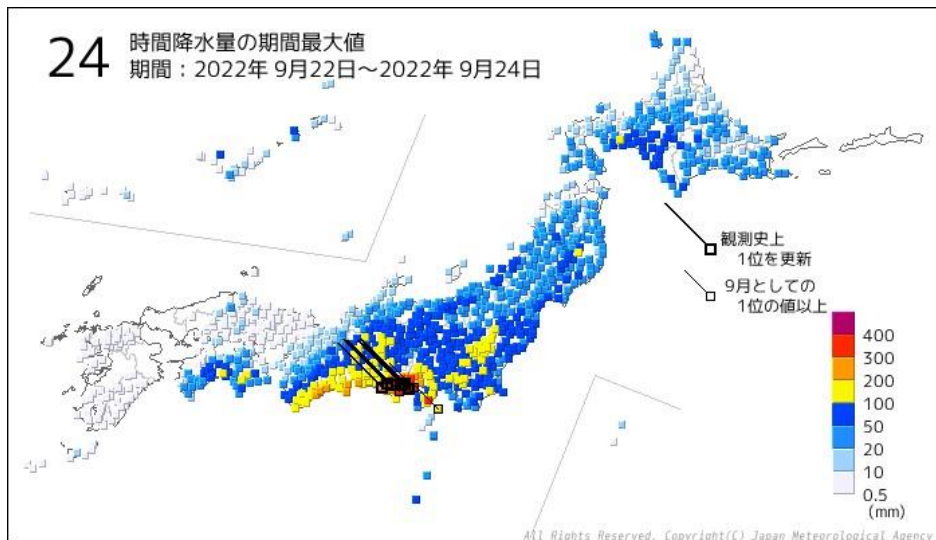
地上天気図



気象衛星画像 (赤外)



期間最大 24 時間降水量分布図 (9 月 22 日～9 月 24 日)



期間最大 24 時間降水量表 (上位 10 地点) (9 月 22 日～9 月 24 日)

順位	都道府県	市町村	地点名(よみ)	降水量		
				(mm)	月日	時分
1	静岡県	静岡市駿河区	静岡(シズオカ)	416.5	2022/9/24	06:00
2	静岡県	静岡市葵区	鍵穴(カギアナ)	405.0	2022/9/24	04:00
3	静岡県	藤枝市	高根山(タカネサン)	403.0	2022/9/24	03:40
4	静岡県	周智郡森町	三倉(ミクラ)	360.5	2022/9/24	03:50
5	静岡県	浜松市天竜区	春野(ハルノ)	341.5	2022/9/24	04:30
6	静岡県	静岡市葵区	有東木(ウトウギ)	334.0	2022/9/24	03:50
7	静岡県	榛原郡川根本町	川根本町(カワネホンチョウ)	330.5	2022/9/24	04:30
8	静岡県	静岡市清水区	清水(シミズ)	319.5	2022/9/24	06:20
9	静岡県	牧之原市	静岡空港(シズオカクウコウ)	309.5	2022/9/24	03:10
10	静岡県	伊豆市	天城山(アマギサン)	308.5	2022/9/24	13:40

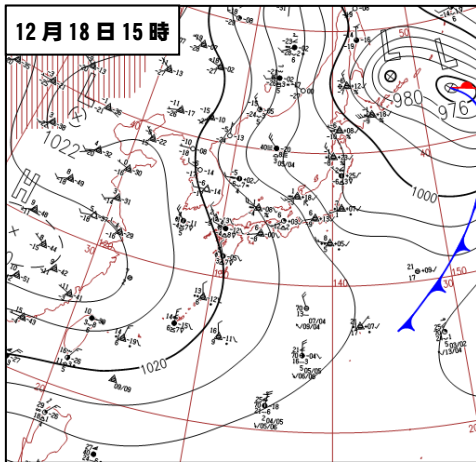
] : 統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています。(資料不足値)



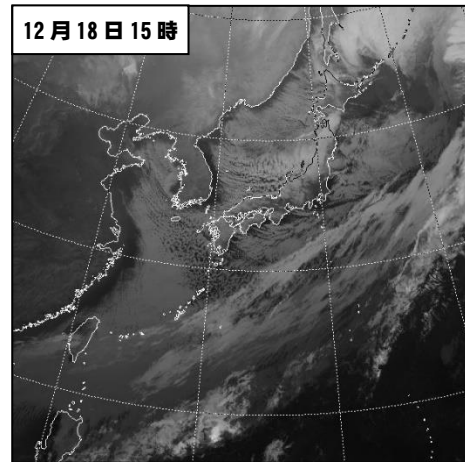
○ 災害番号 (13)

冬型の気圧配置や低気圧による大雪等 (12月17日~12月19日)

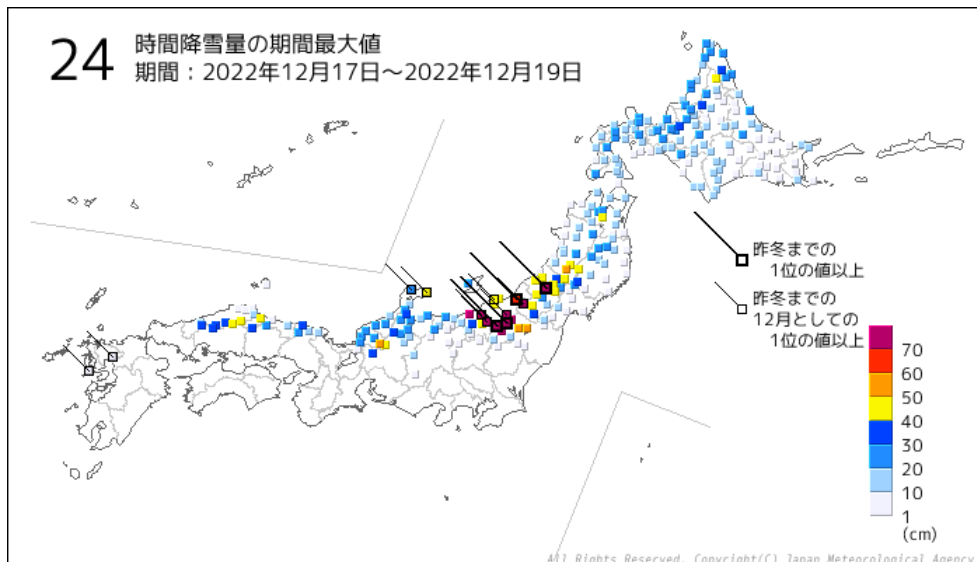
地上天気図



気象衛星画像 (赤外)



期間最大 24 時間降雪量分布図 (12月17日~12月19日)



期間最大 24 時間降雪量表 (上位 10 地点) (12月17日~12月19日)

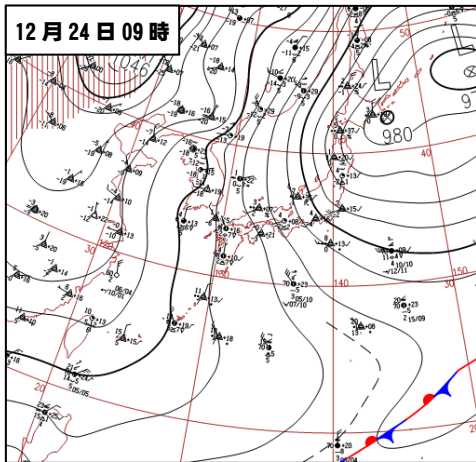
順位	都道府県	市町村	地点名(よみ)	降雪量		
				(cm)	月日	時分
1	福島県	南会津郡只見町	只見(タダミ)	110	2022/12/19	5:00
2	福島県	大沼郡金山町	金山(カネヤマ)	102	2022/12/19	4:00
3	山形県	最上郡大蔵村	肘折(ヒジオリ)	101	2022/12/19	1:00
4	新潟県	魚沼市	守門(スモン)	97	2022/12/19	19:00
5	新潟県	長岡市	長岡(ナガオカ)	89	2022/12/19	13:00
6	新潟県	東蒲原郡阿賀町	津川(ツガワ)	86	2022/12/19	3:00
7	福島県	耶麻郡西会津町	西会津(ニシアイツ)	83	2022/12/19	1:00
8	新潟県	柏崎市	柏崎(カシワザキ)	82	2022/12/19	16:00
9	山形県	西置賜郡小国町	小国(オグニ)	78	2022/12/19	9:00
10	福島県	南会津郡南会津町	南郷(ナンゴウ)	74	2022/12/19	4:00

〕 : 統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています。(資料不足値)

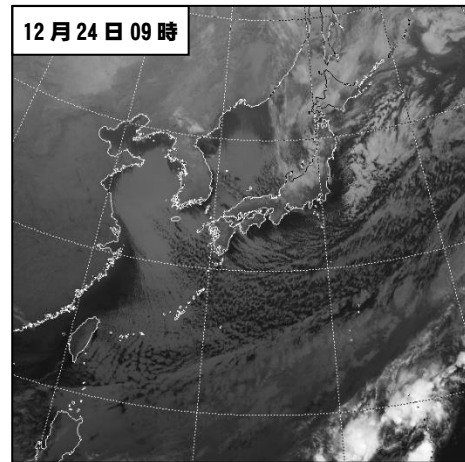
○ 災害番号 (14)

冬型の気圧配置や低気圧による大雪等 (12月22日～12月26日)

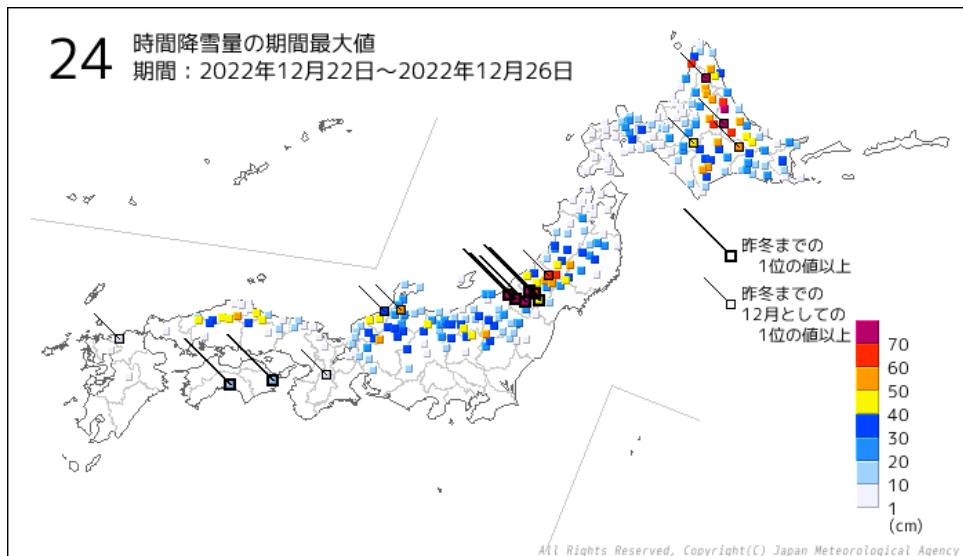
地上天気図



気象衛星画像 (赤外)



期間最大 24 時間降雪量分布図 (12月22日～12月26日)



期間最大 24 時間降雪量表 (上位 10 地点) (12月22日～12月26日)

順位	都道府県	市町村	地点名(よみ)	降雪量		
				(cm)	月日	時分
1	山形県	西置賜郡小国町	小国(オグニ)	97	2022/12/24	5:00
2	北海道 網走・北見・紋別地方	紋別郡遠軽町	白滝(シラタキ)	90	2022/12/23	18:00
3	北海道 上川地方	中川郡音威子府村	音威子府(オトイネツ)	82	2022/12/23	21:00
4	北海道 網走・北見・紋別地方	紋別郡滝上町	滝上(タキノウエ)	81	2022/12/23	19:00
〃	新潟県	岩船郡関川村	下関(シモセキ)	81	2022/12/24	5:00
6	山形県	長井市	長井(ナガイ)	79	2022/12/24	4:00
7	山形県	西村山郡西川町	大井沢(オオイサワ)	78 ]	2022/12/23	23:00
8	北海道 網走・北見・紋別地方	紋別郡西興部村	西興部(ニシオコッペ)	68	2022/12/23	19:00
9	山形県	西村山郡大江町	左沢(アテラザワ)	67	2022/12/24	4:00
10	秋田県	湯沢市	湯の岱(ユノタイ)	65	2022/12/24	2:00

] : 統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています。(資料不足値)

資料1-2-2 令和4年(2022年)に発生した主な竜巻等の突風

発生日時	現象区別	発生場所	主な被害状況	日本版改良藤田(JEF)スケール	風速	気象状況
5月27日 08時30分頃	不明	静岡県富士市	負傷者1名	JEF1	約45m/s	上空の寒気、 暖気の移流
9月18日 15時50分頃	竜巻	静岡県牧之原市	負傷者2名	JEF0	約35m/s	台風、 暖気の移流
9月18日 16時00分頃	竜巻	静岡県牧之原市		JEF0	約35m/s	台風、 暖気の移流
12月13日 17時00分頃	竜巻	新潟県佐渡市	住家半壊2棟	JEF2	約65m/s	寒冷前線

被害(死者、負傷者、住家全壊、住家半壊)が発生したものを掲載。

詳しくは、気象庁ホームページに「竜巻等の突風データベース」を掲載している。

(<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/tornado/index.html>)

日本版改良藤田スケール(JEFスケール)

日本版改良藤田スケール(JEFスケール)とは、米国シカゴ大学の藤田哲也により1971年に考案された藤田スケールを、日本国内で発生する竜巻等突風の強さをより的確に把握できるようにするため、米国の改良スケールを参考にしつつ、日本の建築物等の特徴を加味し、最新の風工学の知見を取り入れて策定した風速のスケール。

階級	風速(m/s)の範囲	主な被害の状況(参考)
	(3秒値)	
JEF0	25-38	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造の住宅において、目視でわかる程度の被害、飛散物による窓ガラスの損壊が発生する。比較的狭い範囲の屋根ふき材が浮き上がったり、はく離する。</li> <li>園芸施設において、被覆材(ビニルなど)がはく離する。パイプハウスの鋼管が変形したり、倒壊する。</li> <li>物置が移動したり、横転する。</li> <li>自動販売機が横転する。</li> <li>コンクリートブロック塀(鉄筋なし)の一部が損壊したり、大部分が倒壊する。</li> <li>樹木の枝(直径2cm~8cm)が折れたり、広葉樹(腐朽有り)の幹が折損する。</li> </ul>
JEF1	39-52	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造の住宅において、比較的広い範囲の屋根ふき材が浮き上がったり、はく離する。屋根の軒先又は野地板が破損したり、飛散する。</li> <li>園芸施設において、多くの地域でプラスチックハウスの構造部材が変形したり、倒壊する。</li> <li>軽自動車や普通自動車(コンパクトカー)が横転する。</li> <li>通常走行中の鉄道車両が転覆する。</li> <li>地上広告板の柱が傾斜したり、変形する。</li> <li>道路交通標識の支柱が傾倒したり、倒壊する。</li> <li>コンクリートブロック塀(鉄筋あり)が損壊したり、倒壊する。</li> <li>樹木が根返りしたり、針葉樹の幹が折損する。</li> </ul>
JEF2	53-66	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造の住宅において、上部構造の変形に伴い壁が損傷(ゆがみ、ひび割れ等)する。また、小屋組の構成部材が損壊したり、飛散する。</li> <li>鉄骨造倉庫において、屋根ふき材が浮き上がったり、飛散する。</li> <li>普通自動車(ワンボックス)や大型自動車(トラック)が横転する。</li> <li>鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。</li> <li>カーポートの骨組が傾斜したり、倒壊する。</li> <li>コンクリートブロック塀(控壁のあるもの)の大部分が倒壊する。</li> <li>広葉樹の幹が折損する。</li> <li>墓石の碑石が転倒したり、ずれたりする。</li> </ul>
JEF3	67-80	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造の住宅において、上部構造が著しく変形したり、倒壊する。</li> <li>鉄骨系プレハブ住宅において、屋根の軒先又は野地板が破損したり飛散する、もしくは外壁材が変形したり、浮き上がる。</li> <li>鉄筋コンクリート造の集合住宅において、風圧によってベランダ等の手すりが比較的広い範囲で変形する。</li> <li>工場や倉庫の大規模な庇において、比較的狭い範囲で屋根ふき材がはく離したり、脱落する。</li> <li>鉄骨造倉庫において、外壁材が浮き上がったり、飛散する。</li> <li>アスファルトがはく離・飛散する。</li> </ul>
JEF4	81-94	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場や倉庫の大規模な庇において、比較的広い範囲で屋根ふき材がはく離したり、脱落する。</li> </ul>
JEF5	95-	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄骨系プレハブ住宅や鉄骨造の倉庫において、上部構造が著しく変形したり、倒壊する。</li> <li>鉄筋コンクリート造の集合住宅において、風圧によってベランダ等の手すりが著しく変形したり、脱落する。</li> </ul>

日本版改良藤田スケールに関するガイドライン

([https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/tornado/kentoukai/kaigi/2015/1221\\_kentoukai/guideline.pdf](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/tornado/kentoukai/kaigi/2015/1221_kentoukai/guideline.pdf)) より

## 2 令和4年(2022年)台風の概要

### 2-1 令和4年(2022年)に発生した台風

台風の発生数は平年並の25個(平年値25.1個)であった。7月までの発生数は6個(平年値7.8個)であったが、8月以降は19個(平年値17.3個)発生し、年間の発生数は平年並となった。日本への台風の接近数は平年並の11個(平年値11.7個)であった。9月に6個の台風が接近し、9月としては1966年以來の接近数となった。日本への台風の上陸は第4号、第8号、第14号の3個(平年値3.0個)であった。

表2.1 令和4年(2022年)の台風発生数\*1、日本への接近数\*2、日本への上陸数\*3と  
令和3年(2021年)及び平年値との比較

項目	月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12												年間
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
令和4年 (2022年)	発生数				2		2	2	5	7	5	1	1	25
	接近数				1			3	3	6				11
	上陸数							1	1	1				3
令和3年 (2021年)	発生数		1		1	1	2	3	4	4	4	1	1	22
	接近数				1		2	2	3	1	2		1	12
	上陸数							1	1	1				3
平年値	発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
	接近数				0.2	0.7	0.8	2.1	3.3	3.3	1.7	0.5	0.1	11.7
	上陸数					0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3			3.0

(注) ・平年値は、平成3年(1991年)～令和2年(2020年)の30年平均。

・日本への接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

発生\*1 「発生」は協定世界時(UTC)を基準とする。

接近\*2 台風が中心が、国内のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合を「接近」という。

上陸\*3 台風が中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を「上陸」という。ただし、小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は「通過」とする。

資料2-1-1 台風発生数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	1	1	2	1	1	3	3	2	4	1	2	21 (-)
52 27	0	0	0	0	0	3	3	5	3	6	3	4	27 (0)
53 28	0	1	0	0	1	2	1	6	3	5	3	1	23 (-)
54 29	0	0	1	0	1	0	1	5	5	4	3	1	21 (-)
55 30	1	1	1	1	0	2	7	6	4	3	1	1	28 (+)
56 31	0	0	1	2	0	1	2	5	6	1	4	1	23 (-)
57 32	2	0	0	1	1	1	1	4	5	4	3	0	22 (-)
58 33	1	0	0	1	1	4	7	5	5	3	2	2	31 (+)
59 34	0	1	1	1	0	0	2	5	5	4	2	2	23 (-)
60 35	0	0	0	1	1	3	3	10	3	4	1	1	27 (0)
1961 36	1	0	1	0	2	3	4	6	6	4	1	1	29 (+)
62 37	0	1	0	1	2	0	5	8	4	5	3	1	30 (+)
63 38	0	0	0	1	0	4	4	3	5	4	0	3	24 (0)
64 39	0	0	0	0	2	2	7	5	6	5	6	1	34 (+)
65 40	2	1	1	1	2	3	5	6	7	2	2	0	32 (+)
66 41	0	0	0	1	2	1	4	10	9	5	2	1	35 (+)
67 42	0	1	2	1	1	1	7	9	9	4	3	1	39 (+)
68 43	0	0	0	1	1	1	3	8	3	5	5	0	27 (0)
69 44	1	0	1	1	0	0	3	4	3	3	2	1	19 (-)
70 45	0	1	0	0	0	2	3	6	5	5	4	0	26 (0)
1971 46	1	0	1	3	4	2	8	5	6	4	2	0	36 (+)
72 47	1	0	0	0	1	3	7	5	4	5	3	2	31 (+)
73 48	0	0	0	0	0	0	7	5	2	4	3	0	21 (-)
74 49	1	0	1	1	1	4	4	5	5	4	4	2	32 (+)
75 50	1	0	0	0	0	0	2	4	5	5	3	1	21 (-)
76 51	1	1	0	2	2	2	4	4	5	1	1	2	25 (0)
77 52	0	0	1	0	0	1	3	3	5	5	1	2	21 (-)
78 53	1	0	0	1	0	3	4	8	5	4	4	0	30 (+)
79 54	1	0	1	1	2	0	4	2	6	3	2	2	24 (0)
80 55	0	0	0	1	4	1	4	2	6	4	1	1	24 (0)
1981 56	0	0	1	2	0	3	4	8	4	2	3	2	29 (+)
82 57	0	0	3	0	1	3	3	5	5	3	1	1	25 (0)
83 58	0	0	0	0	0	1	3	5	2	5	5	2	23 (-)
84 59	0	0	0	0	0	2	5	5	4	7	3	1	27 (0)
85 60	2	0	0	0	1	3	1	8	5	4	1	2	27 (0)
86 61	0	1	0	1	2	2	4	4	3	5	4	3	29 (+)
87 62	1	0	0	1	0	2	4	4	6	2	2	1	23 (-)
88 63	1	0	0	0	1	3	2	8	8	5	2	1	31 (+)
89 H. 1	1	0	0	1	2	2	7	5	6	4	3	1	32 (+)
90 2	1	0	0	1	1	3	4	6	4	4	4	1	29 (+)
1991 3	0	0	2	1	1	1	4	5	6	3	6	0	29 (+)
92 4	1	1	0	0	0	2	4	8	5	7	3	0	31 (+)
93 5	0	0	1	0	0	1	4	7	6	4	2	3	28 (+)
94 6	0	0	0	1	1	2	7	9	8	6	0	2	36 (+)
95 7	0	0	0	1	0	1	2	6	5	6	1	1	23 (-)
96 8	0	1	0	1	2	0	6	5	6	2	2	1	26 (0)
97 9	0	0	0	2	3	3	4	6	4	3	2	1	28 (+)
98 10	0	0	0	0	0	0	1	3	5	2	3	2	16 (-)
99 11	0	0	0	2	0	1	4	6	6	2	1	0	22 (-)
2000 12	0	0	0	0	2	0	5	6	5	2	2	1	23 (-)
01 13	0	0	0	0	1	2	5	6	5	3	1	3	26 (0)
02 14	1	1	0	0	1	3	5	6	4	2	2	1	26 (0)
03 15	1	0	0	1	2	2	2	5	3	3	2	0	21 (-)
04 16	0	0	0	1	2	5	2	8	3	3	3	2	29 (+)
05 17	1	0	1	1	1	0	5	5	5	2	2	0	23 (-)
06 18	0	0	0	0	1	2	2	7	3	4	2	2	23 (-)
07 19	0	0	0	1	1	0	3	4	5	6	4	0	24 (0)
08 20	0	0	0	1	4	1	2	4	4	2	3	1	22 (-)
09 21	0	0	0	0	2	2	2	5	7	3	1	0	22 (-)
2010 22	0	0	1	0	0	0	2	5	4	2	0	0	14 (-)
11 23	0	0	0	0	2	3	4	3	7	1	0	1	21 (-)
12 24	0	0	1	0	1	4	4	5	3	5	1	1	25 (0)
13 25	1	1	0	0	0	4	3	6	8	6	2	0	31 (+)
14 26	2	1	0	2	0	2	5	1	5	2	1	2	23 (-)
15 27	1	1	2	1	2	2	3	4	5	4	1	1	27 (0)
16 28	0	0	0	0	0	0	4	7	7	4	3	1	26 (0)
17 29	0	0	0	1	0	1	8	6	3	3	3	2	27 (0)
18 30	1	1	1	0	0	4	5	9	4	1	3	0	29 (+)
19 R. 1	1	1	0	0	0	1	4	5	6	4	6	1	29 (+)
2020 2	0	0	0	0	1	1	0	8	3	6	3	1	23 (-)
21 3	0	1	0	1	1	2	3	4	4	4	1	1	22 (-)
22 4	0	0	0	2	0	2	2	5	7	5	1	1	25 (0)
平年値 1991-2020	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1

台風の発生月：熱帯低気圧が台風(風速およそ17m/s以上)となった月とする。

年間の(-)は24個未満、(0)は24個以上28個未満、(+)は28個以上を示す。

資料2-1-2 日本への台風接近数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	0	0	8
52 27	0	0	0	0	0	1	2	3	2	2	3	0	12
53 28	0	0	0	0	0	1	2	4	1	3	0	0	10
54 29	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	1	0	10
55 30	0	0	0	1	0	0	7	3	1	4	0	1	16
56 31	0	0	0	1	0	0	1	3	6	0	0	0	10
57 32	0	0	0	0	0	1	0	3	3	2	2	0	10
58 33	0	0	0	0	0	4	5	2	3	0	1	0	15
59 34	0	0	0	1	0	0	1	3	3	3	2	0	13
60 35	0	0	0	0	0	3	2	11	1	2	0	1	19
1961 36	0	0	0	0	1	2	2	4	4	3	0	0	15
62 37	0	0	0	0	1	0	4	6	2	1	1	0	14
63 38	0	0	0	0	0	3	2	2	2	3	0	0	12
64 39	0	0	0	0	0	0	3	3	1	1	0	0	8
65 40	0	0	0	0	1	3	1	4	4	1	1	0	15
66 41	0	0	0	0	2	2	1	7	8	1	0	0	19
67 42	0	0	0	1	0	0	3	4	3	2	1	0	13
68 43	0	0	0	0	0	1	2	2	4	1	0	0	10
69 44	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	2	0	8
70 45	0	0	0	0	0	0	2	4	3	0	0	0	9
1971 46	0	0	0	1	1	0	2	3	5	1	1	0	13
72 47	0	0	0	0	0	0	3	3	2	3	0	0	11
73 48	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4
74 49	0	0	0	0	0	1	3	4	3	0	0	0	10
75 50	0	0	0	0	0	0	1	4	1	2	2	0	9
76 51	0	0	0	1	2	2	5	2	1	0	2	0	13
77 52	0	0	0	0	0	0	1	4	2	0	0	0	6
78 53	0	0	0	0	0	2	3	6	3	1	1	0	14
79 54	0	0	0	0	1	0	0	2	2	3	0	0	7
80 55	0	0	0	0	1	0	0	2	3	2	1	0	9
1981 56	0	0	0	0	0	2	3	3	2	2	1	0	11
82 57	0	0	0	0	1	2	3	4	3	1	0	0	13
83 58	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1	0	7
84 59	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	1	9
85 60	0	0	0	0	1	1	2	7	2	2	0	0	12
86 61	0	0	0	0	1	1	2	3	3	1	1	0	12
87 62	0	0	0	0	0	1	5	2	1	2	0	0	10
88 63	0	0	0	0	0	2	1	4	4	2	0	0	13
89 H. 1	0	0	0	0	0	1	3	4	3	1	0	0	11
90 2	0	0	0	0	1	1	1	5	3	1	1	1	14
1991 3	0	0	0	0	1	0	1	4	5	2	1	0	14
92 4	0	0	0	0	0	1	1	5	3	2	3	0	14
93 5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	2	0	0	9
94 6	0	0	0	0	1	0	4	6	3	2	2	0	15
95 7	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
96 8	0	0	0	0	2	0	3	2	3	1	1	0	10
97 9	0	0	0	1	1	3	1	3	3	2	1	0	15
98 10	0	0	0	0	0	0	0	2	5	1	0	0	8
99 11	0	0	0	1	0	0	3	4	3	0	1	0	11
2000 12	0	0	0	0	2	0	4	4	3	1	1	0	15
01 13	0	0	0	0	1	0	2	2	4	2	0	0	11
02 14	0	0	0	0	0	1	6	2	3	1	1	0	13
03 15	0	0	0	1	1	2	0	2	3	1	1	1	12
04 16	0	0	0	1	1	3	3	6	3	3	0	1	19
05 17	0	0	0	1	0	1	2	3	4	2	0	0	12
06 18	0	0	0	0	0	0	3	4	2	1	0	0	10
07 19	0	0	0	0	1	0	1	4	3	3	0	0	12
08 20	0	0	0	0	3	1	2	1	2	1	0	0	9
09 21	0	0	0	0	1	0	0	3	3	2	0	0	8
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0	7
11 23	0	0	0	0	2	1	1	2	4	0	0	0	9
12 24	0	0	0	0	1	3	3	6	3	4	0	0	17
13 25	0	0	0	0	0	2	1	2	4	6	0	0	14
14 26	0	0	0	0	0	2	3	2	3	2	1	0	12
15 27	0	0	0	0	2	0	3	4	4	0	1	0	14
16 28	0	0	0	0	0	0	1	5	4	1	0	0	11
17 29	0	0	0	0	0	0	4	2	2	2	0	0	8
18 30	0	0	0	0	0	2	4	7	2	2	1	0	16
19 R. 1	0	0	0	0	0	1	2	3	5	4	1	0	15
2020 2	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	0	0	7
21 3	0	0	0	1	0	2	2	3	1	2	0	1	12
22 4	0	0	0	1	0	0	3	3	6	0	0	0	11
平年値	-	-	-	0.2	0.7	0.8	2.1	3.3	3.3	1.7	0.5	0.1	11.7
1991-2020													

台風の接近：台風の中心が日本から概ね300km以内に入った場合をいう。

接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-3 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	4
52 27	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	1	0	7
53 28	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
54 29	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	6
55 30	0	0	0	0	0	0	5	1	1	4	0	0	10
56 31	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	5
57 32	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	5
58 33	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	5
59 34	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	6
60 35	0	0	0	0	0	1	0	5	1	0	0	0	7
1961 36	0	0	0	0	0	1	2	3	1	1	0	0	7
62 37	0	0	0	0	0	0	1	6	1	0	0	0	8
63 38	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	6
64 39	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
65 40	0	0	0	0	1	1	0	2	4	0	1	0	9
66 41	0	0	0	0	1	2	0	2	4	1	0	0	9
67 42	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
68 43	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	5
69 44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
70 45	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5
1971 46	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	6
72 47	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	6
73 48	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
74 49	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	4
75 50	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	4
76 51	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	4
77 52	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
78 53	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	0	0	7
79 54	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	5
80 55	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
1981 56	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	6
82 57	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	0	0	6
83 58	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
84 59	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
85 60	0	0	0	0	0	1	1	4	2	1	0	0	6
86 61	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
87 62	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	5
88 63	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0	6
89 H. 1	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	0	7
90 2	0	0	0	0	0	0	1	3	2	1	1	0	8
1991 3	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	0	0	9
92 4	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	0	0	5
93 5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	0	0	8
94 6	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	6
95 7	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
96 8	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
97 9	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0	6
98 10	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	6
99 11	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
2000 12	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	5
01 13	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	4
02 14	0	0	0	0	0	1	4	2	0	1	0	0	8
03 15	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	6
04 16	0	0	0	0	1	2	1	4	2	3	0	0	12
05 17	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
06 18	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
07 19	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	5
08 20	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
09 21	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	4
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
11 23	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	5
12 24	0	0	0	0	0	1	0	3	2	1	0	0	6
13 25	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3	0	0	6
14 26	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	5
15 27	0	0	0	0	1	0	2	1	2	0	0	0	6
16 28	0	0	0	0	0	0	0	5	3	1	0	0	9
17 29	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	5
18 30	0	0	0	0	0	1	2	5	2	2	0	0	10
19 R. 1	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	0	0	8
2020 2	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	5
21 3	0	0	0	0	0	0	1	3	1	1	0	0	6
22 4	0	0	0	0	0	0	2	2	3	0	0	0	7
平年値	-	-	-	0.0	0.2	0.4	1.0	1.6	1.9	0.9	-	-	5.8
1991-2020													

台風の北海道・本州・四国・九州への接近：台風の中心が北海道・本州・四国・九州から概ね300km以内に入った場合をいう。

接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-4 日本への台風上陸数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
52 27	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
53 28	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
54 29	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	5
55 30	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	4
56 31	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
57 32	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
58 33	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
59 34	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
60 35	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4
1961 36	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
62 37	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	5
63 38	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
64 39	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
65 40	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	5
66 41	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	5
67 42	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
68 43	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
69 44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
70 45	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
1971 46	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
72 47	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
73 48	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
74 49	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
75 50	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
76 51	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
77 52	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
78 53	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
79 54	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
80 55	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
1981 56	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
82 57	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4
83 58	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
84 59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85 60	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
86 61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
87 62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
88 63	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
89 H. 1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	5
90 2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	6
1991 3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
92 4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
93 5	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	6
94 6	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
95 7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
96 8	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
97 9	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	4
98 10	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4
99 11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
2000 12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
01 13	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
02 14	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
03 15	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
04 16	0	0	0	0	0	2	1	3	2	2	0	0	10
05 17	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
06 18	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
07 19	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
08 20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
09 21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
11 23	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
12 24	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
13 25	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
14 26	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	4
15 27	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
16 28	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	6
17 29	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
18 30	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	5
19 R. 1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
2020 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
22 4	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
平年値 1991-2020	-	-	-	-	0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3	-	-	3.0

台風の日本への上陸：台風の中心が北海道・本州・四国・九州の海岸線に達した場合をいう。

小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は通過とする。



資料2-1-5 令和4年(2022年)に発生した台風の一覧表

台風番号	台風名	熱帯低気圧の発生			台風の発生			台風期間中の最低(大)値						熱帯低気圧または温帯低気圧となった日時と位置			消滅前の最後に確認された日時と位置、又は域外に出た最初の日時			
		月日時	北緯	東経	月日時	北緯	東経	海面気圧		風速		強風半径		月日時	北緯	東経	種類	月日時	北緯	東経
								月日時	hPa	月日時	m/s	月日時	km							
1	MALAKAS	4 6 15	3.4	150.2	4 8 09	5.1	145.9	4 14 15	945	4 14 15	45	4 15 18	E:950 W:560	4 15 21	30.0	143.7	L	4 18 09		域外
2	MEGI	4 9 03	10.3	127.4	4 10 03	10.8	125.9	4 10 09	996	4 10 09	20	4 11 03	W:220 E:165	4 11 09	11.4	125.0	TD	4 12 09	11.4	125.0
3	CHABA	6 29 03	14.6	116.5	6 30 09	15.8	115.5	7 2 15	965	7 2 15	35	7 2 15	SE:650 NW:330	7 3 15	24.4	110.6	TD	7 8 03	39.1	124.8
4	AERE	6 30 21	19.1	131.0	7 1 03	19.6	130.9	7 2 23	994	7 2 23	23	7 2 23	E:390 W:185	7 5 09	33.0	131.0	L	7 10 21	41.5	143.0
5	SONGDA	7 26 21	14.9	143.3	7 28 21	22.5	139.0	7 31 21	996	7 29 21	20	7 29 03	N:650 S:280	8 1 03	34.9	123.1	TD	8 1 15	35.3	123.3
6	TRASES	7 29 21	20.3	128.7	7 31 09	25.7	127.9	8 1 09	998	8 1 15	18	8 1 09	E:390 W:280	8 1 21	36.3	126.4	TD	8 2 03	37.9	125.8
7	MULAN	8 8 09	16.3	110.1	8 9 15	17.3	113.5	8 10 03	994	8 11 03	18	8 10 03	NE:600 SW:390	8 11 09	21.4	106.0	TD	8 11 15	21.5	104.1
8	MEARI	8 9 03	23.9	148.8	8 11 21	28.8	135.6	8 14 15	996	8 14 15	20	8 14 15	SE:330 NW:165	8 14 21	44.0	150.0	L	8 17 03		域外
9	MA-ON	8 21 09	17.6	127.8	8 22 03	16.4	125.3	8 25 09	985	8 25 09	30	8 25 03	E:440 W:220	8 26 09	21.4	104.4	TD	8 26 09	21.4	104.4
10	TOKAGE	8 21 15	22.0	151.0	8 22 09	24.0	151.6	8 24 15	970	8 24 15	40	8 24 15	E:390 W:280	8 26 03	45.1	158.3	L	8 27 09		域外
11	HINNAMNOR	8 28 03	23.8	151.1	8 28 15	25.9	149.5	8 31 06	920	8 31 06	55	9 4 21	SW:700 NE:600	9 6 21	44.0	137.0	L	9 9 09		域外
12	MUIFA	9 4 03	25.6	146.6	9 8 03	16.8	133.5	9 11 18	950	9 11 18	45	9 12 06	N:330 S:240	9 16 09	37.7	121.5	L	9 17 09	43.6	129.0
13	MERBOK	9 10 21	20.6	158.0	9 11 21	20.8	160.5	9 15 09	965	9 15 03	35	9 15 09	E:700 W:280	9 15 15	41.4	167.0	L	9 17 03		域外
14	NANMADOL	9 12 21	22.3	138.7	9 14 03	22.4	140.1	9 17 21	910	9 17 21	55	9 20 00	750	9 20 03	37.6	138.4	L	9 20 09	39.0	143.0
15	TALAS	9 21 03	21.1	140.9	9 22 09	25.9	137.4	9 23 15	1000	9 23 15	18	9 23 15	NE:370 SW:95	9 23 21	32.6	136.6	TD	9 27 21	39.5	148.1
16	NORU	9 21 15	17.4	133.0	9 23 03	17.9	133.5	9 25 15	940	9 25 15	50	9 28 15	NW:440 SE:280	9 28 21	16.0	105.0	TD	9 29 15	16.0	103.3
17	KULAP	9 25 09	19.9	147.3	9 26 09	23.1	144.2	9 29 15	965	9 29 03	30	9 29 15	750	9 29 21	44.4	162.6	L	10 1 21		域外
18	ROKE	9 28 09	21.1	132.5	9 28 21	23.0	131.7	9 30 15	975	9 30 15	35	10 1 21	NE:370 SW:280	10 2 03	35.4	149.9	L	10 5 15	41.1	165.9
19	SONCA	10 13 15	12.8	113.9	10 14 09	14.1	111.9	10 15 03	998	10 15 03	18	10 15 03	NW:440 SE:220	10 15 09	15.5	107.8	TD	10 15 09	15.5	107.8
20	NESAT	10 14 21	18.9	128.2	10 15 15	18.9	124.1	10 18 15	965	10 18 15	40	10 15 21	N:440 S:280	10 20 09	17.4	108.4	TD	10 20 15	17.7	108.2
21	HAITANG	10 17 09	27.0	156.4	10 18 09	28.7	158.6	10 19 15	1004	10 19 15	18	10 19 09	SE:280 NW:165	10 19 21	36.5	167.8	L	10 20 21		域外
22	NALGAE	10 26 09	10.1	134.9	10 27 09	10.9	132.2	11 1 15	975	11 1 15	30	10 29 15	750	11 3 03	21.6	113.9	TD	11 3 09	21.9	113.4
23	BANYAN	10 28 15	6.8	140.4	10 31 03	8.1	135.2	10 31 15	1002	10 31 09	20	10 31 21	S:185 N:75	11 1 09	7.1	129.8	TD	11 3 09	6.7	127.4
24	YAMANeko	11 11 21	19.8	167.3	11 12 21	21.1	165.5	11 14 09	1004	11 14 09	18	11 14 09	NE:330 SW:165	11 14 15	24.9	166.0	TD	11 15 03	28.8	168.2
25	PAKHAR	12 10 09	14.0	124.7	12 11 21	18.2	127.0	12 12 09	998	12 12 09	20	12 12 15	N:280 S:165	12 12 21	20.3	131.5	L	12 12 21	20.3	131.5

表中の日時はすべて日本時(JST)。

「台風期間中の最低(大)値」の起時は、最低(大)となった最後の時刻である。

(但し、風速はノットで解析し、5m/s単位に換算、強風半径は海里で解析し、10km単位に換算しているため、必ずしもこれに当てはまらない事がある。)

強風域とは、台風の周辺で平均風速がおおむね15m/s以上の領域。

種類欄の「TD」は熱帯低気圧、「L」は温帯低気圧を表す。

域外とは、日付変更線(東経180°)より東側、東経100°より西側、又は北緯60°より北側の領域。

## 2-2 令和4年(2022年)に日本に影響した主な台風

日本に影響\*した主な台風について以下に概要を示す。

\*ここでは、台風の中心が、国内のいずれかの気象官署等から500km以内に入った場合をいう。

### (1) 台風第1号 (2201 MALAKAS)

4月6日15時にチューク諸島近海で発生した熱帯低気圧は西へ進み、進路を北北西へ変えた後、8日09時にカロリン諸島近海で台風第1号となった。台風はその後北西へ進み、12日09時に進路を北東へ変え、14日03時にフィリピンの東海上で最大勢力となった。15日21時までに日本の東で温帯低気圧に変わり、アリューシャン近海へ進み、18日09時までに東経180度を越えた。

### (2) 台風第4号 (2204 AERE)

6月30日21時にフィリピンの東海上で発生した熱帯低気圧は北西へ進み、7月1日03時に同海域で台風第4号となった。台風は北北東へ進み、進路を北西へ変えた後、2日15時に沖縄本島付近で最大勢力となった。2日23時頃に沖縄本島付近を通過し、進路を北東へ変え、5日06時前に長崎県佐世保市付近に上陸した。台風は5日09時までに九州北部地方で温帯低気圧に変わり、瀬戸内海を東へ進み紀伊半島に向かい、太平洋に進んだ。その後、日本の東海上を進み、11日03時に北海道の南海上で消滅した。

### (3) 台風第5号 (2205 SONGDA)

7月26日21時にマリアナ諸島の西海上で発生した熱帯低気圧は北西へ進み、28日21時に日本の南海上で台風第5号となった。台風は29日21時に九州の南西海上で最大勢力となり、黄海で減速し進路を北へ変えた。8月1日03時に熱帯低気圧に変わり、同日21時に同海域で消滅した。

### (4) 台風第6号 (2206 TRASES)

7月29日21時に沖縄の南海上で発生した熱帯低気圧は西北西へ進み、次第に進路を北へ変え、31日09時に同海域で台風第6号となり、同時に最大勢力となった。台風は8月1日21時に朝鮮半島の西海岸付近で熱帯低気圧に変わり、2日09時に朝鮮半島北部で消滅した。

### (5) 台風第8号 (2208 MEARI)

8月9日03時に南鳥島の西海上で発生した熱帯低気圧は西北西へ進み、11日21時に日本の南海上で台風第8号となった。台風は北北東へ進み、12日21時に同海域で最大勢力となった。台風は次第に進路を北東へ変え、13日15時前に静岡県御前崎付近を通過し、同日17時半頃に伊豆半島に上陸した。台風は日本の東海上から千島近海へ進み、14日21時までに温帯低気圧となった。温帯低気圧は次第に進路を北へ変え、17日03時前に北緯60度を越えた。

### (6) 台風第11号 (2211 HINNAMNOR)

8月28日03時に南鳥島近海で発生した熱帯低気圧は北西へ進み、同日15時に同海域で台風第11号となった。台風はその後西へ進み、30日21時に南大東島近海で最大勢力となった。台風は次第に勢力を弱め

つつ進路を南へ変え、9月1日に沖縄の南海上で速度を落とした。2日に同海域で進路を大きく北へ変え、4日に再び発達しながら東シナ海を北上した。台風は対馬海峡を通過し、北東へ進み、その後勢力を弱めながら日本海を進み、6日21時までに温帯低気圧に変わった。温帯低気圧はオホーツク海に進み9日09時までに北緯60度を越えた。

(7) 台風第12号 (2212 MUIFA)

9月4日03時に小笠原諸島の東海上で発生した熱帯低気圧は西南西へ進み、進路を南南西へ変えた後西へ変え、8日03時にフィリピンの東海上で台風第12号となった。台風は、次第に進路を北へ変え速度を落とし、11日09時に沖縄の南海上で最大勢力となった。台風は勢力を少し弱め、12日12時頃に石垣島付近を通過した後、再び発達し速度を速めながら東シナ海を北北西へ進んだ。華中に上陸した後、進路を北北東へ変え、16日09時までに山東半島付近で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は進路を北東へ変え、17日15時に中国東北区で消滅した。

(8) 台風第14号 (2214 NANMADOL)

9月12日21時に日本の南海上で発生した熱帯低気圧は約1日間反時計回りに進み、その後東北東へ進み14日03時に小笠原諸島の南海上で台風第14号となった。台風は同日15時に進路を大きく西へ変え、その後急速に発達し、16日03時に進路を北西へ変え、17日03時に南大東島の東海上で最大勢力となった。台風は、北北西へ進み、18日13時半頃に鹿児島県屋久島付近を通過し、進路を北へ変え、同日17時半頃鹿児島県指宿市付近を通過し、同日19時頃鹿児島県鹿児島市付近に上陸した。台風は北上を続け、19日03時頃有明海から福岡県柳川市付近に再上陸した。台風は次第に進路を北東へ変え、勢力を落としつつ同日15時頃日本海へ進み、次第に進路を東へ変え、20日03時までに同海域で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は本州を東北東に横断し、20日15時に日本の東海上で消滅した。

(9) 台風第15号 (2215 TALAS)

9月21日03時に小笠原近海で発生した熱帯低気圧は同日15時にかけて北へ進み、次第に進路を北西へ変え、22日09時に日本の南海上で台風第15号となり、同時に最大勢力となった。台風は進路を北西から次第に北へ変え、23日21時に紀伊半島の南で熱帯低気圧に変わり、北東へ進んだ後、24日09時までに静岡県南海上で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は日本の東海上を進み、28日03時に北海道の南東海上で消滅した。

(10) 台風第17号 (2217 KULAP)

9月25日09時にマリアナ諸島近海で発生した熱帯低気圧は北西へ進み、26日09時に小笠原近海で台風第17号となった。台風は次第に進路を北東へ変えつつ加速し、28日09時に日本の東海上で最大勢力となった。台風は北東の進路を維持したまま、29日21時までに千島の東海上で温帯低気圧に変わり、10月1日21時前にベーリング海で東経180度を越えた。

(11) 台風第18号 (2218 ROKE)

9月28日09時に日本の南海上で発生した熱帯低気圧は北へ進み、同日21時に南大東島の南で台風第18号となった。台風は進路を北東から東北東へ変え、30日09時に日本の南海上で最大勢力となった。台風は次第に進路を北東へ変え、10月2日03時までには日本の東海上で温帯低気圧に変わり、5日21時に日本のるか東海上で消滅した。

資料2-2-1 令和4年(2022年)に日本に影響した台風の概要表(熱帯低気圧、温帯低気圧の期間は除く)

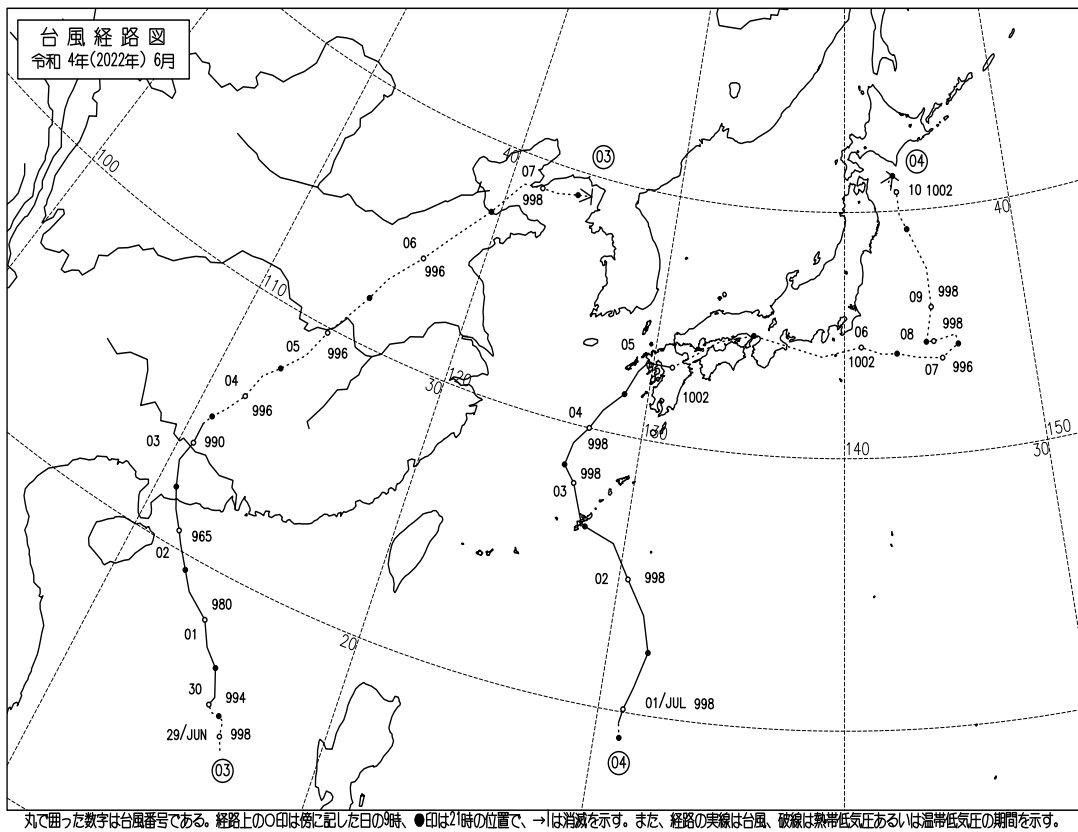
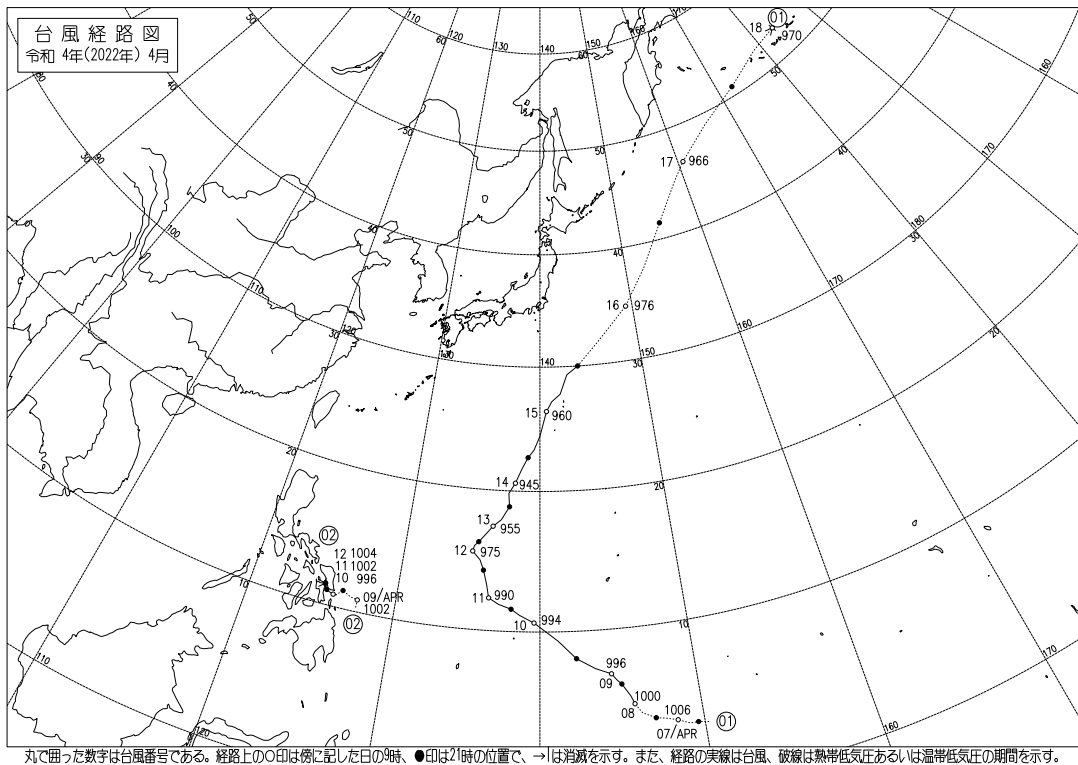
台風 番号	日本への影響 (台風の中心が日本から概ね500km以内に入った場合)			日本への接近 (台風の中心が日本から概ね300km以内に入った場合)			上陸、通過
	月日		地 域	月日		地 域	
	始	終		始	終		
1	4/15	4/15	伊豆諸島、小笠原諸島	4/15	4/15	伊豆諸島、小笠原諸島	上陸、通過なし。
4	7/1	7/5	沖縄・奄美、西日本	7/2	7/5	沖縄・奄美、九州南部、九州北部地方、四国地方、中国地方	2日23時頃、沖縄本島付近を通過した。 5日06時前、長崎県佐世保市付近に上陸した。
5	7/29	7/31	沖縄・奄美、九州南部、九州北部地方、四国地方、伊豆諸島、小笠原諸島	7/29	7/30	奄美地方、九州南部、九州北部地方	上陸、通過なし。
6	7/31	8/1	沖縄・奄美、九州南部、九州北部地方	7/31	8/1	沖縄・奄美、九州北部地方	上陸、通過なし。
8	8/11	8/14	西日本、東日本、北日本	8/12	8/14	四国地方、近畿地方、東日本、北日本	13日15時前、静岡県御前崎付近を通過した。 13日17時半頃、静岡県伊豆半島に上陸した。
11	8/29	9/6	沖縄・奄美、西日本、東海地方、伊豆諸島、小笠原諸島、北陸地方、北日本	8/29	9/6	沖縄・奄美、九州北部地方、中国地方、伊豆諸島、小笠原諸島	上陸、通過なし。
12	9/10	9/14	沖縄・奄美	9/10	9/14	沖縄地方	12日12時頃、沖縄県石垣島付近を通過した。
14	9/14	9/20	沖縄・奄美、西日本、東日本、東北地方	9/17	9/20	沖縄・奄美、西日本、東海地方、関東地方、甲信地方、北陸地方、東北地方	18日13時半頃、鹿児島県屋久島付近を通過した。 18日17時半頃、鹿児島県指宿市付近を通過した。 18日19時頃、鹿児島県鹿児島市付近に上陸した。 19日03時頃、福岡県柳川市付近に再上陸した
15	9/22	9/23	西日本、東日本	9/23	9/23	四国地方、近畿地方、東海地方	上陸、通過なし。
17	9/26	9/28	伊豆諸島、小笠原諸島	9/26	9/27	伊豆諸島、小笠原諸島	上陸、通過なし。
18	9/28	10/1	沖縄・奄美、九州南部、伊豆諸島、小笠原諸島	9/28	9/30	沖縄地方	上陸、通過なし。

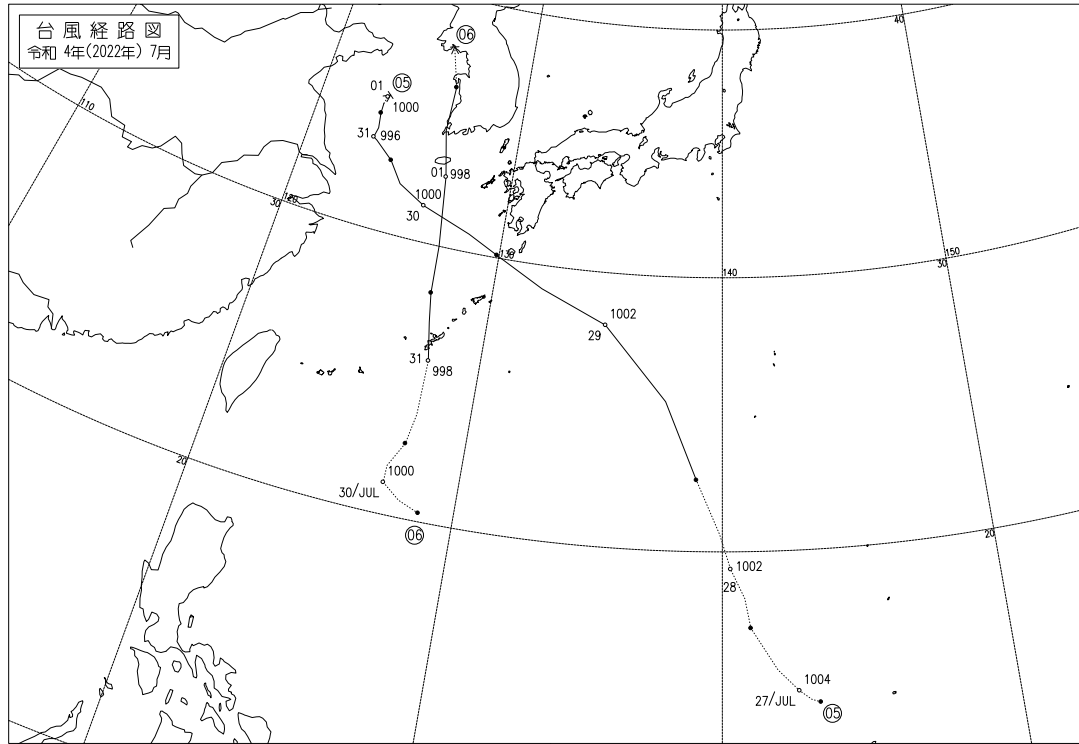
台風の中心がそれぞれの地域のいずれかの気象官署等から500 km以内に入った場合を「日本に影響した台風」とした。

台風の中心がそれぞれの地域のいずれかの気象官署等から300 km以内に入った場合を「日本に接近した台風」とした。

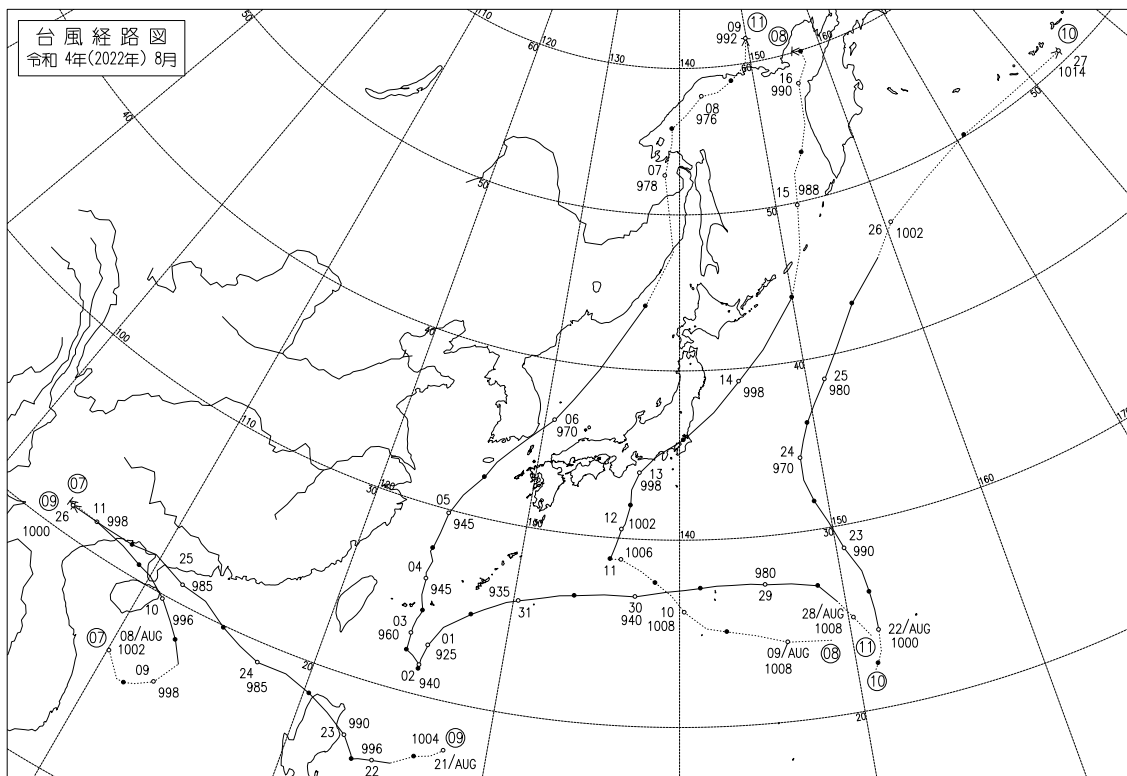
資料 2-2-2 令和 4 年(2022 年)に発生した台風の経路図(月別)

※ 1 月、2 月、3 月及び 5 月は台風の発生がなかったため掲載していない。  
9 月は 2 枚に分けて掲載している。

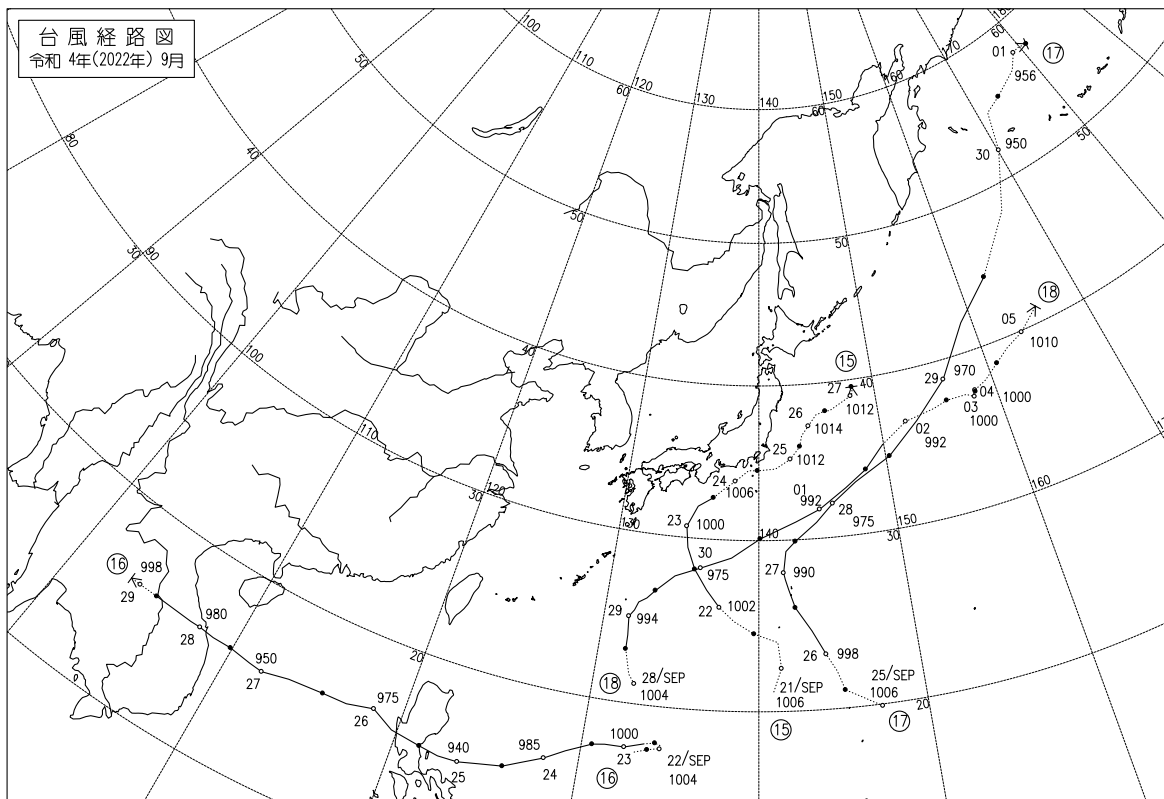
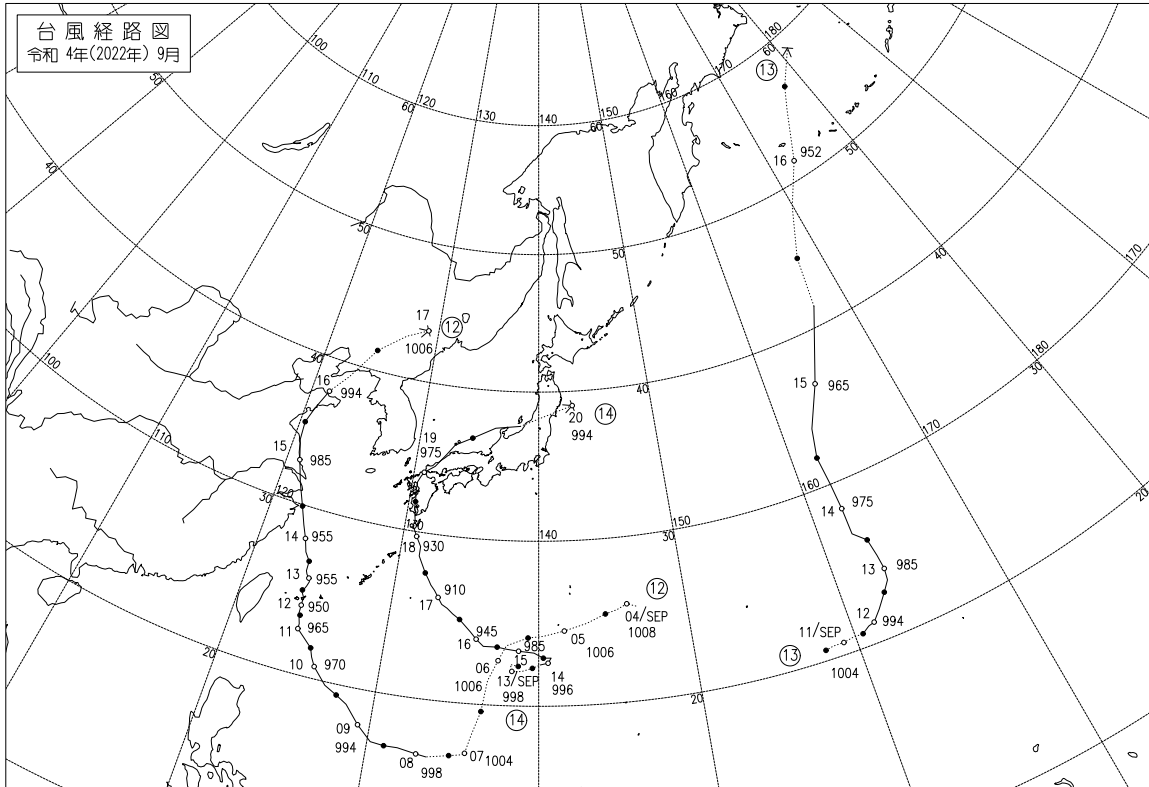




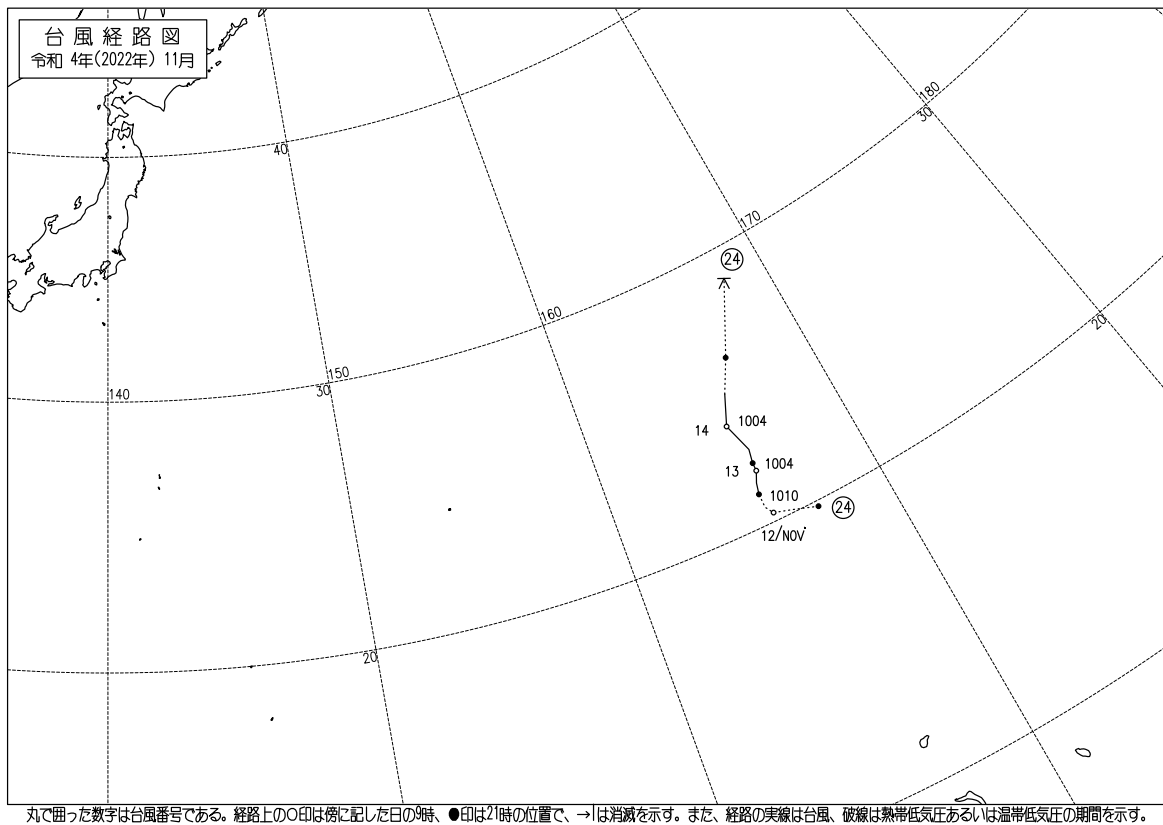
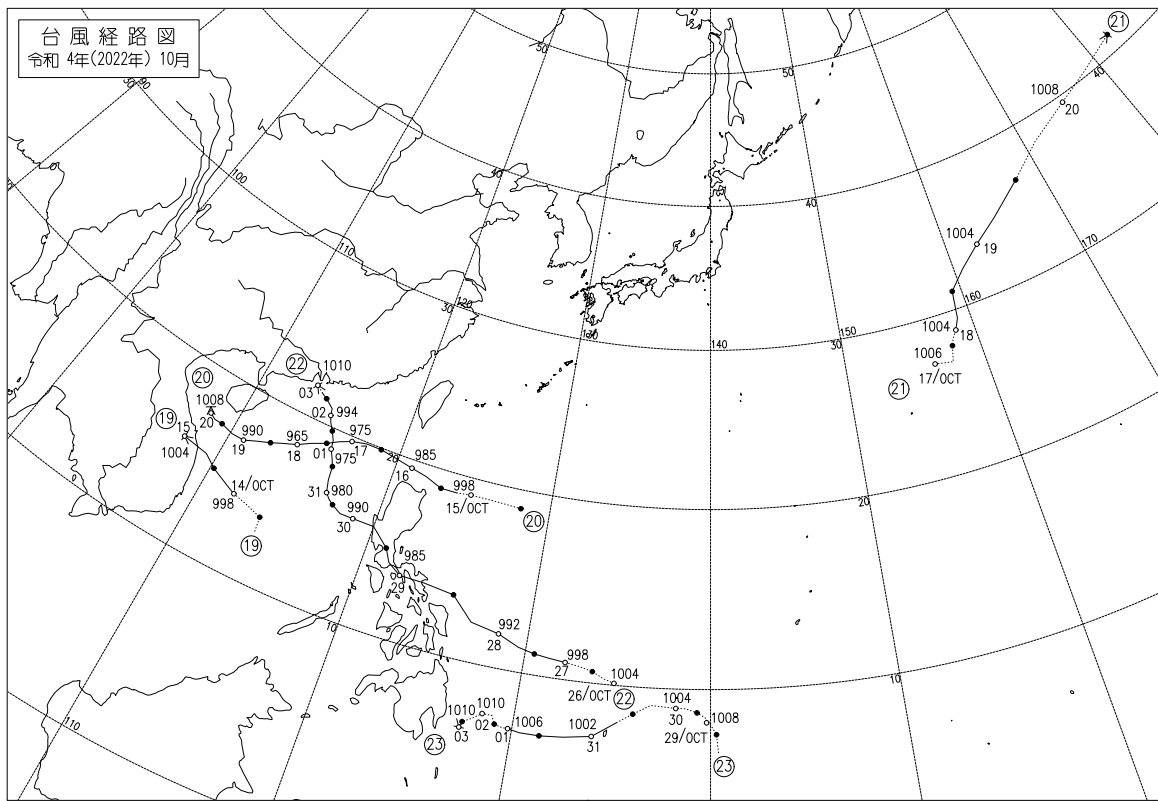
丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温带低気圧の期間を示す。

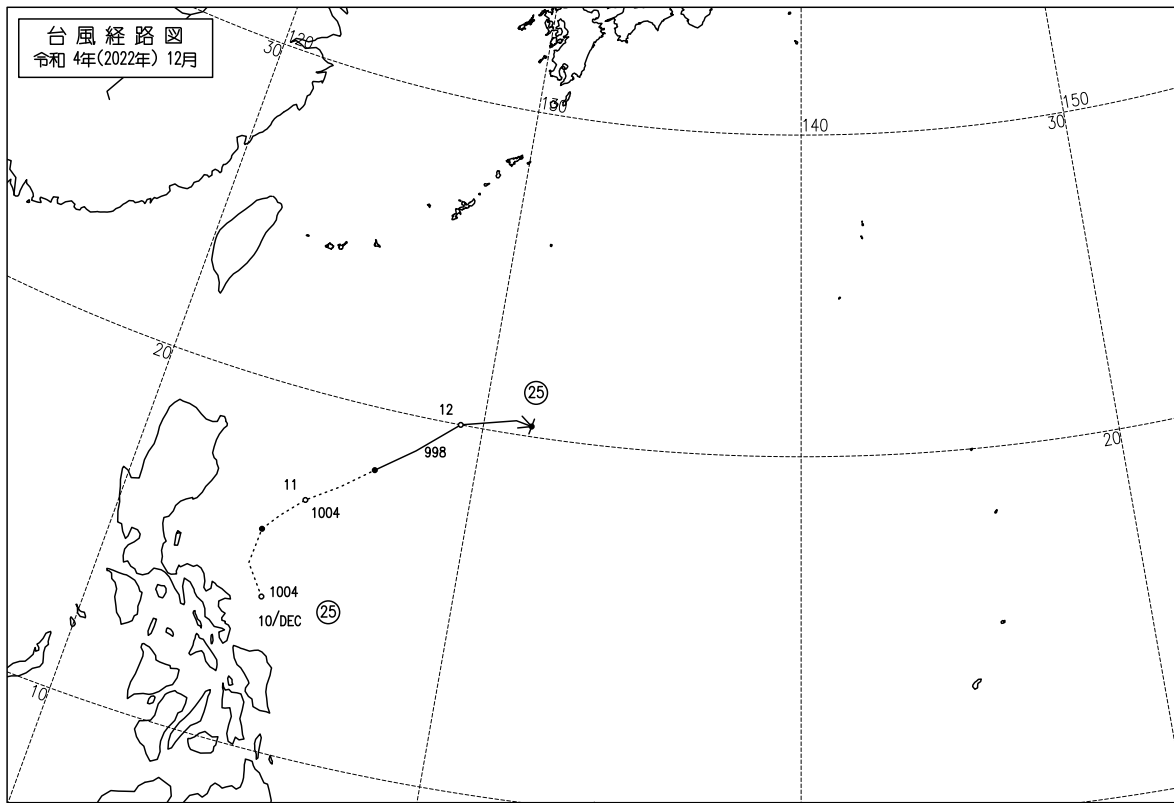


丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温带低気圧の期間を示す。









丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は例に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。

### 3 令和4年（2022年）の天気概況

#### 1月

冬型の気圧配置(以下、冬型)により、中国地方から北海道にかけての日本海側を中心に雪、一部の地域で暴風、その後前線を伴った低気圧が通過し再び冬型、中国地方から北海道にかけての日本海側を中心に雪や雨(1～5日)

1日は、強い冬型が西から次第に緩んだが、中国地方から北海道にかけての日本海側を中心に雪となったほか、北陸地方では暴風となったところがあった。九州や太平洋側はおおむね晴れた。2日から4日は、前線を伴った低気圧が北海道からオホーツク海へ進み、その後冬型となった影響で、中国地方から北海道にかけての日本海側を中心に雪や雨となったほか、北海道では強風、北陸地方や東北地方では雷となったところがあった。西日本から東日本の太平洋側はおおむね晴れた。5日は冬型が次第に緩むが、寒気の影響により中国地方から北海道にかけての日本海側では雪や雨となったところがあったほか、北海道では強風となったところがあった。また、東シナ海の前線の影響で沖縄・奄美から九州を中心に雨となった。東日本の太平洋側は高気圧に覆われ晴れた。

日本の南岸を進んだ低気圧の影響で東海地方や関東地方の太平洋側で雪、その後寒気や寒冷前線の影響で日本海側を中心に雪や雨、太平洋側はおおむね晴れ、その後高気圧に覆われ全国的に晴れ、一部で雨や雪(6～10日)

6日は、日本の南岸を東へ進んだ前線を伴った低気圧の影響で、沖縄・奄美や西日本の太平洋側で雨となり、東海地方や関東地方の太平洋側では雪となった。7日は、寒気の影響により中国地方から北海道にかけての日本海側で雪や雨となった。西日本から東日本にかけての太平洋側は高気圧に覆われおおむね晴れた。8日は、寒気や前線の影響で北日本の日本海側で雪となったところがあったが、西日本から東日本は高気圧に覆われおおむね晴れた。9日は、寒冷前線が北日本を通過し、北日本を中心に雪や雨となったほか、北陸地方では雷となったところがあった。西日本から東日本の太平洋側はおおむね晴れた。10日は大陸から張り出す高気圧に覆われ全国的に晴れたところが多かったが、気圧の谷や寒気の影響により中国地方で雨、北海道で雪となったところがあった。

前線を伴った低気圧や強い冬型の影響で広い範囲で雨、日本海側や北海道で雪、一部の地域で暴風、その後も強い冬型の影響で日本海側を中心に雪、一部の地域で暴風(11～15日)

11日から12日は、前線を伴った低気圧が発達しながら北海道付近へ進み、強い冬型となった影響で、広い範囲で雨となり、日本海側や北海道では雪となった。四国地方や東北地方では強風、九州南部、伊豆諸島、北陸地方、北海道では暴風となったところがあったほか、北陸地方や中国地方では雷となったところがあった。13日から14日は、強い冬型により日本海側を中心に雪となり、関東地方では強風、北海道では暴風、北陸地方では雷となったところがあった。15日は、冬型が次第に緩んだが、北日本の日本海側では雪となったところがあったほか、北海道では強風となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われ晴れたところが多かった。

低気圧や冬型の影響により、日本海側を中心に雪や雨、その後冬型が弱まるものの、再び冬型となり、日本海側を中心に雪や雨、太平洋側はおおむね晴れ(16～21日)

16日は、前線を伴った低気圧が日本海から北海道付近へ進み、日本海側を中心に雪や雨となり、北陸地方では雷となったところがあった。近畿地方から関東地方にかけての太平洋側は高気圧に覆われ晴れた。17日から18日は、冬型や北海道付近の低気圧の影響により、中国地方から北陸地方にかけての日本海側や北日本で雪や雨となったほか、北陸地方では強風となったところがあった。19日は、冬型が弱まったが、中国地方から東北地方にかけての日本海側では雪や雨となった。その他の地域はおおむね晴れた。20日から21日は、冬型が持続し、日本海側を中心に雪や雨となり、北陸地方では雷となったところがあった。太平洋側はおおむね晴れた。

東シナ海の前線や日本の南を進んだ低気圧の影響で沖縄・奄美や西日本、東日本の太平洋側で雨、沖縄地方では一部で大雨、その後高気圧に覆われ晴れたところが多かったが、一部の地域で雨(22～25日)

22日は、本州付近の高気圧に覆われ、東日本を中心に晴れたが、東シナ海の前線の影響で、沖縄・奄美から九州では雨となったところがあったほか、寒気の影響で北日本日本海側では雪となったところがあった。23日

は、東シナ海から九州南部にのびる前線の影響により、沖縄・奄美や西日本では雨となり、沖縄地方では大雨となったところがあった。また、日本海の低気圧の影響で東北地方では雪となったところがあった。24日は、前線を伴った低気圧が日本の南を東へ進み、沖縄・奄美や西日本から東日本の太平洋側では雨となったところがあった。また、寒気の影響で日本海側では雨や雪となったところがあった。25日は、日本海の高気圧に覆われ晴れたところが多かったが、伊豆諸島付近の低気圧の影響で東海地方や関東地方、伊豆諸島では雨となったところがあった。

#### 日本海の低気圧や冬型の影響で中国地方から北海道にかけての日本海側で雪や雨、湿った空気や沖縄の南の低気圧の影響で沖縄・奄美や九州南部で雨(26～31日)

26日は、日本海の低気圧の影響で中国地方から北海道にかけての日本海側で雨や雪となったところがあった。沖縄・奄美や西日本から東北地方にかけての太平洋側はおおむね晴れた。27日は、寒気や北海道付近の低気圧の影響により、中国地方から北海道にかけての日本海側で雪や雨となったほか、寒気や湿った空気の影響で沖縄・奄美や九州南部では雨となった。28日は、冬型の影響により、中国地方から北海道にかけての日本海側で雪や雨となった。太平洋側はおおむね晴れた。沖縄・奄美は湿った空気の影響で雨となったところがあった。29日は、冬型の影響により中国地方から北海道にかけての日本海側では雪や雨となったほか、前線や気圧の谷の影響で沖縄・奄美を中心に雨となった。東日本から北日本にかけての太平洋側はおおむね晴れた。30日は、冬型の影響により中国地方から北海道にかけての日本海側で雪となった。沖縄・奄美では沖縄の南の前線上の低気圧の影響により雨となった。東日本から北日本にかけての太平洋側はおおむね晴れた。31日は、冬型の影響により中国地方から北海道にかけての日本海側で雪や雨となった。太平洋側はおおむね晴れた。

### 2月

#### 冬型が強まり、日本海側を中心に雪や雨で北陸地方では大雪、太平洋側はおおむね晴れ、沖縄・奄美や九州南部は前線の影響で雨(1～7日)

1日は、冬型の影響や、日本海から北陸地方へ接近した低気圧の影響で、日本海側を中心に雪や雨となった。西日本から北日本にかけての太平洋側はおおむね晴れた。2日から4日は、冬型の影響により中国地方から北海道にかけての日本海側で雪や雨となったほか、北陸地方では雷となったところがあった。沖縄・奄美や、九州南部は、沖縄付近の前線の影響で雨となった。5日から6日は、強い冬型の影響で日本海側を中心に雪となり、北陸地方では大雪となったところがあったほか、四国地方では強風、北陸地方では雷となったところがあった。太平洋側はおおむね晴れた。7日は、冬型は次第に緩んだが、寒気の影響により中国地方から北海道にかけての日本海側では雪や雨となった。東日本の太平洋側は晴れた。

#### 日本の南を進んだ低気圧や東海道沖の低気圧の影響で、太平洋側を中心に雨、関東地方では一部で暴風、その後高気圧に覆われ晴れたところが多かったが、一部で低気圧の影響により雪や雨、沖縄地方では一部で大雨(8～12日)

8日は、日本の南を東へ進んだ低気圧の影響で、沖縄・奄美や西日本の太平洋側では雨となった。また、寒気の影響で、中国地方から北海道にかけての日本海側では雪や雨となったところがあった。9日は、日本海の高気圧に覆われ、西日本から東日本にかけてはおおむね晴れたが、寒気の影響で、北日本では日本海側を中心に雪となったところがあった。10日は、東海道沖を低気圧が東へ進み、西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に雨となった。北海道は高気圧に覆われ晴れた。11日は、日本の東の低気圧の影響で、関東地方や東北南部の太平洋側で雨となったほか、関東地方では暴風となったところがあった。また、寒気や気圧の谷の影響で西日本から東日本にかけての日本海側で雨や雪となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。12日は、日本海の低気圧の影響で、東北地方の日本海側を中心に雪となった。沖縄・奄美や九州南部は、東シナ海の低気圧の影響で雨となり、沖縄地方で大雨となったところがあった。また、その他の地域は晴れた。

#### 前線を伴った低気圧が本州の南岸を進み、沖縄・奄美から東日本にかけて雨や雪、その後、低気圧や寒気の影響で日本海側を中心に雨や雪、高気圧に覆われ太平洋側でおおむね晴れ(13～18日)

13日は、前線を伴った低気圧が本州の南岸を進んだ影響で沖縄・奄美から東日本にかけて雨や雪となった。14日は、日本の東へ進んだ低気圧と沖縄・奄美から日本の南の前線の影響により、沖縄・奄美や九州南部、東日本の太平洋側で雨や雪となった。その他の地域はおおむね晴れた。15日から16日は、日本海の低気圧と関

東付近から日本の東へ進んだ低気圧の影響で、中国地方から東北地方にかけての日本海側と北海道で雨や雪となり、四国地方では強風、北陸地方と関東地方では雷となったところがあった。17日から18日は、日本海の低気圧や強い寒気の影響で、日本海側を中心に雪となり、四国地方では強風、北陸地方では雷となったところがあった。太平洋側はおおむね晴れた。

**3つの低気圧や冬型の影響で、全国的に雨や雪、伊豆諸島では一部で暴風、その後発達した低気圧や強い冬型の影響で、日本海側を中心に雪、北日本では一部の地域で暴風(19～22日)**

19日から20日は、日本海の低気圧、本州の南岸を日本の東へ発達しながら進んだ低気圧、日本の南を東へ進んだ低気圧、次第に冬型となった影響により、全国的に雨や雪となり、伊豆諸島では暴風、九州南部や北陸地方、北海道では強風、北陸地方では雷となったところがあった。21日から22日は、千島近海の発達した低気圧や強い冬型の影響により、中国地方から東北地方にかけての日本海側と北海道で雪となり、北日本では暴風、北陸地方では強風となったところがあった。西日本から東日本太平洋側はおおむね晴れた。

**冬型の影響により日本海側で雪、前線の影響により南西諸島で雨、その後冬型が緩み西日本から東日本で晴れ、北日本では寒気の影響で一部で雪(23～26日)**

23日から24日は、冬型の影響により、中国地方から北海道にかけての日本海側で雪となり、南西諸島では前線の影響で雨となった。東日本の太平洋側は晴れた。25日から26日は、西から高気圧が張り出し、西日本から東日本では太平洋側を中心に晴れた。北日本は寒気の影響で日本海側を中心に雪となったところがあったほか、東北地方では雷となったところがあった。

**2つの低気圧の影響で、日本海側を中心に雪や雨、その後、高気圧に覆われ沖縄・奄美から東日本でおおむね晴れ、北日本では寒気の影響により一部で雪(27～28日)**

27日は、低気圧が日本の東と北日本を東へ進み、中国地方から北海道にかけての日本海側を中心に雪や雨となったほか、東北地方では雷、伊豆諸島と北海道では強風となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。28日は、沖縄・奄美から東日本は、高気圧に覆われおおむね晴れた。北日本は、寒気の影響により日本海側を中心に雪となったところがあったほか、北海道では強風となったところがあった。

## 3月

**前線を伴った低気圧の影響で、広い範囲で雨や雪、その後、低気圧の影響で北日本を中心に雪や雨、高気圧に覆われ西日本を中心におおむね晴れ(1～3日)**

1日は、前線を伴った低気圧が、北日本付近と、本州の南岸をそれぞれ東へ進んだ影響で、西日本や東日本から北日本にかけての日本海側を中心に雨や雪となった。2日は、寒気の影響で日本海側では雪や雨となったところがあった。また、日本の南の前線や気圧の谷の影響で、沖縄地方や関東地方南部では雨となったところがあったほか、関東地方では雷となったところがあった。その他の地域はおおむね晴れた。3日は、北日本を進んだ低気圧の影響で、北陸地方や北日本で雪や雨となり、北陸地方では雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

**北海道を通過した低気圧やその後の冬型の影響により北陸地方や北日本で雪や雨、その後、西から高気圧に覆われ全国的に晴れ(4～10日)**

4日は、高気圧に覆われ西日本から北日本にかけて晴れたところが多かったが、寒気の影響で、北日本では日本海側で雪、東シナ海の前線を伴った低気圧や、気圧の谷の影響で沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側では雨となったところがあった。5日から6日は、沿海州付近の前線を伴った低気圧が北海道を通過し、冬型になった影響により、北陸地方や北日本で雪や雨となり、東海地方、北陸地方、北海道では強風、北陸地方では雷となったところがあった。西日本から東日本にかけての太平洋側はおおむね晴れた。7日は、西から高気圧に覆われ西日本から東日本は太平洋側を中心に晴れたところが多かったが、発達した低気圧や寒気の影響で北陸地方や北日本の日本海側では雪や雨となったところがあったほか、北海道では強風となったところがあった。また、南西諸島は前線を伴った低気圧の影響で雨となった。8日は、高気圧に覆われ西日本や東日本はおおむね晴れたが、湿った空気の影響で北日本で雪となった所があったほか、伊豆諸島付近の低気圧の影響で、関東地方南部では雨となったところがあった。9日から10日は、本州付近を東へ移動する高気圧に覆われ全国的に晴れた。東北地方では、上空の寒気の影響で雨となったところがあった。

高気圧に覆われ、沖縄・奄美から東日本にかけておおむね晴れ、北日本では低気圧等の影響により一部で雨や雪、その後、前線を伴った低気圧により、全国的に雨、東北地方では一部で暴風、再び高気圧に覆われ沖縄・奄美から東日本で晴れ(11～16日)

11日から12日は、高気圧に覆われ沖縄・奄美から東日本にかけておおむね晴れたが、北日本では低気圧や寒気の影響で雨や雪となったところがあった。13日は、日本海から東北地方へのびる前線が、前線上の低気圧の東進とともに南下し、西日本や北陸地方、東北地方で雨となった。北海道は高気圧に覆われおおむね晴れた。14日から15日は、本州を通過した前線と、その後朝鮮半島付近から日本の東へ進んだ前線を伴った低気圧の影響で全国的に雨となり、西日本や東日本では雷となったところがあったほか、東北地方では暴風となったところがあった。16日は、九州付近と関東の東海上の高気圧に覆われ沖縄・奄美から東日本は晴れた。北日本では低気圧の影響で雪や雨となったところがあった。

発達しながら進んだ低気圧の影響で、全国的に雨や雪、一部の地域では大雨、その後冬型の影響で、日本海側を中心に雪や雨、その後高気圧に覆われ東日本や北日本の太平洋側はおおむね晴れ、東シナ海の前線の影響で九州や四国地方で雨(17～21日)

17日は、日本の南の高気圧に覆われ太平洋側はおおむね晴れたが、低気圧や寒気の影響で北日本は雪や雨となったところがあった。また、九州に接近する低気圧の影響で九州北部地方を中心に雨となったところがあった。18日から19日は、本州の南岸から北海道の東海上へ発達しながら進んだ低気圧の影響で全国的に雨や雪となり、沖縄・奄美から東日本では大雨となったところがあったほか、北海道では強風、沖縄地方と関東地方では雷となったところがあった。20日は、冬型の影響で日本海側を中心に雪や雨となったところがあった。沖縄・奄美や太平洋側はおおむね晴れた。21日は、高気圧に覆われ東日本や北日本の太平洋側はおおむね晴れたが、寒気の影響により北日本では日本海側を中心に雪や雨となったところがあった。また、東シナ海の前線の影響で九州や四国地方では雨となった。

前線を伴った低気圧が日本の南を進み、沖縄・奄美から東日本を中心に雨や雪、その後、湿った空気や気圧の谷の影響で沖縄・奄美から東北地方で雨や雪、その後、高気圧に覆われ、ほぼ全国的に晴れ(22～25日)

22日は、前線を伴った低気圧が九州南部から伊豆諸島付近へ進み、沖縄・奄美から東日本を中心に雨や雪となった。九州や伊豆諸島では強風、沖縄・奄美では雷となったところがあった。23日は、湿った空気や気圧の谷の影響により沖縄・奄美から西日本を中心に雨となった。東日本から北日本は高気圧に覆われ太平洋側を中心におおむね晴れた。24日は、気圧の谷の影響で北陸地方や東北地方を中心に雨や雪となったところがあった。西日本や東日本の太平洋側は高気圧に覆われ晴れた。25日は、西日本から北日本は高気圧に覆われおおむね晴れたが、沖縄・奄美は黄海の前線を伴った低気圧の影響で雨となったところがあった。

前線を伴った低気圧がオホーツク海と三陸沖へ進み全国的に雨、一部の地域で大雨や暴風、次第に高気圧に覆われ西日本から北日本でおおむね晴れ、低気圧からのびる前線や湿った空気の影響で沖縄・奄美や九州南部で雨(26～28日)

26日は、前線を伴った低気圧が発達しながら日本海と本州の南岸を進んだ影響で全国的に雨となり、奄美地方、九州、近畿地方、東海地方では大雨、九州北部地方、四国地方、中国地方では暴風となったところがあったほか、北陸地方では強風、九州では雷となったところがあった。27日は、オホーツク海と三陸沖へ進んだ低気圧の影響で、東日本から北日本を中心にはじめ雨となったが、次第に高気圧に覆われ日中は西日本から北日本はおおむね晴れた。沖縄・奄美は低気圧からのびる前線の影響で雨となった。28日は、寒気の影響で北日本を中心に雨や雪となったところがあったほか、東北地方では強風となったところがあった。また、前線や湿った空気の影響で、沖縄・奄美や九州南部では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

高気圧に覆われたが、前線や気圧の谷の影響で沖縄・奄美や太平洋側の一部で雨、北海道の一部で雨や雪、その後、前線が本州を南下し沖縄・奄美から東北地方で雨(29～31日)

29日は、本州は高気圧に覆われたが、沖縄付近から日本の南へのびる前線や気圧の谷の影響で、沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側では雨となったところがあった。その他の地域は晴れたところが多かった。30日は、北海道は、オホーツク海の低気圧からのびる寒冷前線が通過し、雨や雪となったところがあったほか、沖縄付近にのびる前線の影響で沖縄・奄美では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。31日は、前線が本州を南下し、沖縄・奄美から東北地方では雨となった。北海道はおおむね晴れた。

## 4月

高気圧に覆われほぼ全国的に晴れ、気圧の谷や日本の南から日本の東へ進んだ低気圧により、沖縄・奄美や近畿地方から東北地方にかけての太平洋側で雨、伊豆諸島では一部で大雨、関東地方では一部で暴風(1～5日)

1日は、日本の南を南下する前線の影響で、沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側で雨となったほか、気圧の谷の影響で北日本では雪や雨となったところがあった。西日本は高気圧に覆われおおむね晴れた。2日は、高気圧に覆われ全国的におおむね晴れたが、近畿地方や東海地方は、気圧の谷の影響で、雨となったところがあった。3日から4日は、気圧の谷や日本の南の低気圧の影響により沖縄・奄美や近畿地方から東北地方にかけての太平洋側を中心に雨となり、伊豆諸島では大雨、関東地方では暴風となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われ晴れた。5日は、日本の東の低気圧や気圧の谷の影響で関東地方から東北地方にかけての太平洋側では雨となったところがあったほか、関東地方では暴風となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

高気圧に覆われ沖縄・奄美から東日本を中心に晴れ、前線や低気圧の影響で北日本を中心に雨や雪(6～10日)

6日から8日は、北日本を通過した前線や、日本海を東へ進み北日本を通過した低気圧の影響により、北陸地方から北日本では雨や雪となったが、その他の地域は高気圧に覆われ晴れた。9日から10日は、高気圧に覆われ全国的におおむね晴れたが、沿海州付近からオホーツク海へ進んだ低気圧の影響で北海道では雨や雪となったところがあった。

高気圧に覆われ東日本から東北地方でおおむね晴れ、その後前線が本州の南岸に停滞、小笠原諸島付近を北上する台風第1号の影響で広い範囲で雨、一部の地域で大雨、暴風(11～16日)

11日から12日は、高気圧に覆われ、東日本から東北地方はおおむね晴れたが、湿った空気の影響で沖縄・奄美や九州では雨となったほか、前線を伴った低気圧の影響で北海道では雨となったところがあった。13日は、北日本を通過した前線や東シナ海からのびる前線の影響で、西日本から北日本で雨となったところがあった。14日から15日は、本州の南岸に前線が停滞し、台風第1号が、小笠原諸島付近を北上した。これらの影響により沖縄・奄美から東北地方にかけて雨となり、四国地方で大雨となったところがあったほか、西日本や東海地方では雷となったところがあった。また、小笠原諸島で大雨や暴風となった。北海道は高気圧に覆われおおむね晴れた。16日は、大陸から高気圧が張り出し、日本の東を台風第1号から変わった低気圧が北上した。日本の東の前線や湿った空気の影響により、東日本や東北地方で雨となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

高気圧に覆われほぼ全国的に晴れ、気圧の谷や湿った空気の影響等で一部の地域で雨、その後気圧の谷の影響で広い範囲で曇りとなるが、再び高気圧に覆われほぼ全国的に晴れ、低気圧等の影響で一部の地域で雨(17～20日)

17日は、高気圧に覆われ全国的におおむね晴れたが、気圧の谷や湿った空気の影響で東海地方では雨となったところがあった。18日は、気圧の谷の影響で広い範囲で曇りとなり、東海道沖の低気圧の影響で東日本太平洋側を中心に雨となった。19日から20日は、高気圧に覆われ全国的におおむね晴れたが、日本の東の低気圧や気圧の谷の影響で、太平洋側では雨となったところがあったほか、北海道では強風となったところがあった。

前線や低気圧が繰り返し本州や北海道付近を通過し、全国的に雨、東海地方では一部で暴風、その後高気圧に覆われほぼ全国的に晴れ(21～25日)

21日から22日は、前線を伴った低気圧が、本州の南岸と沿海州付近をそれぞれ進み、全国的に雨となった。東海地方では暴風、関東地方では強風、北海道では雷となったところがあった。23日から24日は、オホーツク海の低気圧からのびる前線が北日本を通過し、北日本では雨となったところがあったほか、北海道では強風となったところがあった。また、本州の南岸を進んだ前線を伴った低気圧の影響で、沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側では雨となったほか、沖縄・奄美では雷となったところがあった。25日は、高気圧に覆われ全国的におおむね晴れたが、湿った空気の影響で、西日本太平洋側では雨となったところがあった。

前線を伴った2つの低気圧が発達しながらサハリン付近と北日本を通過し、全国的に雨、一部の地域では大雨や暴風、その後日本の南に停滞した前線上に低気圧が発生し、沖縄・奄美から東北地方で雨、関東地方では一部で暴風(26～30日)

26日から27日は、前線を伴った2つの低気圧が、それぞれ発達しながらサハリン付近と北日本を通過した影響で全国的に雨となり、九州、中国地方、東海地方では大雨、東北地方で暴風、関東地方、北海道で強風、西日本や北陸地方では雷となったところがあった。28日は、日本海の高気圧に覆われ日本海側を中心に晴れたが、日本の南に停滞する前線の影響で、沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側では雨となったところがあった。29日は、前線上の東シナ海に発生した低気圧が本州の南岸を進み、沖縄・奄美から東北地方では雨となり、関東地方では暴風、西日本では強風となったところがあった。30日は、はじめ関東の東の低気圧の影響で、北陸地方や東北地方で雨となり、関東地方では暴風となったところがあったが、その後は高気圧に覆われ全国的におおむね晴れた。

## 5月

**低気圧や上空の寒気の影響で西日本から北日本で雨、沖縄・奄美は前線の影響で雨(1～2日)**

1日は、沖縄付近から日本の南に停滞した前線や本州南岸の低気圧及び北日本付近の低気圧の影響により、沖縄・奄美や近畿地方から北海道で雨となった。2日は、日本の南に停滞した前線の影響で沖縄地方では雨となった。また、西日本から北日本は、日本海や北海道付近の低気圧、上空の寒気の影響で雨となったところがあったほか、関東地方や北海道では雷となったところがあった。

**西から高気圧に覆われたが、北日本では低気圧の影響で雨、一部の地域で暴風、前線や前線上の低気圧の影響で沖縄・奄美や九州で雨、一部の地域で大雨(3～6日)**

3日から4日は、西から高気圧に覆われ西日本から東日本はおおむね晴れたが、九州北部地方では雷となったところがあった。また、沖縄・奄美は前線の影響で、北日本は低気圧の影響で雨となったところがあったほか、東北地方では暴風、北海道では強風となったところがあった。5日から6日は、日本の東の高気圧に覆われ、北日本を中心におおむね晴れたが、沖縄付近から日本の南に停滞する前線や前線上の低気圧の影響で沖縄・奄美や九州では雨となり、九州南部・奄美地方では大雨となったところがあった。

**前線を伴った低気圧や湿った空気の影響で、関東甲信地方や北日本で雨、その後高気圧に覆われたが、前線や上空の気圧の谷の影響で、沖縄・奄美や、西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に雨(7～10日)**

7日から8日は、北海道付近を進んだ前線を伴った低気圧や湿った空気の影響で、関東甲信地方や北日本で雨となり、北海道では強風となったところがあった。また、沖縄付近に停滞する前線の影響で沖縄・奄美では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。9日から10日は、沖縄付近に停滞した前線や上空の気圧の谷の影響により、沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に雨となった。北日本は高気圧に覆われ晴れたところが多かった。

**前線上に発生した低気圧が本州付近を進み全国的に雨、一部の地域で大雨(11～14日)**

11日は、東シナ海の前線や低気圧の影響により沖縄・奄美から西日本は雨となり、沖縄地方と九州南部では大雨となったところがあった。北日本は高気圧に覆われおおむね晴れた。12日から14日は、前線上の低気圧が東シナ海から本州の南岸を通り北海道付近へ進んだ影響により全国的に雨となり、九州南部、四国地方、東海地方では大雨となったところがあったほか、沖縄地方では雷、北日本では強風となったところがあった。

**停滞する前線の影響で沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側で雨、一部の地域で大雨、その後、高気圧に覆われほぼ全国的に晴れ(15～19日)**

15日は、南西諸島から日本の南に停滞する前線の影響で沖縄・奄美では雨となり、沖縄地方では大雨となったところがあった。また、西日本から東日本にかけての太平洋側では雨となったところがあった。北日本でも上空の寒気の影響で雨となったところがあった。16日から17日は、沖縄付近から日本の南に停滞した前線や湿った空気の影響で、沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側で雨となったところがあり、沖縄地方では大雨となったところがあった。北日本は高気圧に覆われおおむね晴れた。18日は、本州付近の高気圧に覆われ、全国的に晴れた。19日は、前線が沖縄付近へ北上し沖縄地方では大雨となったところがあった。北日本は上空の寒気の影響で雨となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。



日本の南を進んだ前線を伴った低気圧や上空の寒気等の影響で全国的に雨、奄美地方では一部で大雨、その後、高気圧に覆われ西日本から北日本はおおむね晴れ、前線が停滞した沖縄・奄美で雨、一部の地域で大雨(20～25日)

20日は、前線上の東シナ海に発生した低気圧が東へ進み、沖縄・奄美や九州南部で雨となり、沖縄地方では雷、奄美地方で大雨となったところがあった。また、東日本から北日本は高気圧に覆われ東北地方を中心に晴れたところが多かったが、上空の寒気や気圧の谷の影響で関東甲信地方や北海道では雨や雷となったところがあった。21日は、前線を伴った低気圧が日本の南を東へ進み、沖縄・奄美から東日本を中心に雨となり、奄美地方では大雨、関東地方や東北地方では雷となったところがあった。22日は、関東の東から三陸沖へ進んだ低気圧、日本海の低気圧、上空の寒気の影響で中国地方から北海道にかけて広い範囲で雨となり、雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われ晴れた。23日は、前線が沖縄付近に停滞し、沖縄・奄美では雨となった。また、気圧の谷の影響で東日本や北日本では雨や雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。24日から25日は、前線が沖縄付近から日本の南に停滞し、沖縄・奄美では雨となり、沖縄地方では大雨となったところがあった。西日本から北日本は高気圧に覆われおおむね晴れたが、上空の寒気や湿った空気の影響により雨や雷となったところがあった。

前線や低気圧、暖かく湿った空気等の影響で全国的に雨、その後、高気圧に覆われ西日本から東日本はおおむね晴れ、低気圧や前線の影響で沖縄・奄美や北日本で雨、一部の地域で大雨(26～29日)

26日から27日は、沖縄付近から本州南岸を通過した低気圧や日本の南に停滞した前線、上空の寒気、暖かく湿った空気の影響で全国的に雨となり、大雨や雷となったところがあった。28日から29日は、前線が南西諸島付近から日本の南に停滞し、沖縄・奄美や九州では雨となり、沖縄・奄美では大雨や雷となったところがあった。また、日本の東を北上した低気圧の影響で、北日本では雨となり、東北地方では雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

低気圧の影響で全国的に雨、沖縄地方では一部で大雨(30～31日)

30日から31日は、日本の南を進んだ前線を伴った低気圧や日本海の低気圧の影響で、全国的に雨となり、沖縄地方では大雨、沖縄・奄美や北日本では雷となったところがあった。

## 6月

沖縄付近に停滞した前線の影響で、沖縄・奄美を中心に雨、一部の地域で大雨、低気圧や上空の寒気の影響で東日本から北日本で雨、高気圧に覆われ西日本はおおむね晴れ(1～4日)

1日は、沖縄付近に停滞した前線の影響で沖縄・奄美や九州南部で雨となり、沖縄・奄美では大雨や雷となったところがあった。また、低気圧の影響で北日本でも雨となり、雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。2日から4日は、沖縄付近から日本の南に停滞した前線の影響で、沖縄・奄美では雨となり、大雨や雷となったところがあった。また、低気圧や上空の寒気の影響で、関東甲信地方や北日本を中心に雨となり、雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

前線上に発生した低気圧が本州の南岸を進み沖縄・奄美から東北地方で雨、一部の地域で大雨や暴風、その後、沖縄付近に前線が停滞し沖縄・奄美で雨、低気圧や上空の寒気の影響で西日本から東北地方の一部で雨、東北地方では一部で大雨(5～10日)

5日から6日は、前線上に発生した低気圧が本州の南岸を進み、沖縄・奄美から東北地方で雨となり、沖縄・奄美では雷、西日本から東北地方にかけては大雨となったところがあった。また、伊豆諸島や九州では強風、東海地方では暴風となったところがあった。7日は、沖縄付近に停滞した前線の影響で沖縄・奄美では雨となり、日本の東の低気圧や日本海の低気圧の影響で、西日本の日本海側や東日本、東北地方で雨となり、東北地方では大雨となったところがあった。北海道は高気圧に覆われ晴れたところが多かった。8日から10日は、沖縄付近から日本の南に停滞した前線の影響で、沖縄・奄美では雨となった。西日本から東北地方は伊豆諸島付近を進んだ低気圧や上空の寒気の影響で、雨や雷となったところがあった。

前線上に発生した低気圧の影響で、沖縄・奄美から北日本の太平洋側を中心に雨、一部の地域で大雨、その後、再び前線上に低気圧が発生し、沖縄・奄美から東日本で雨、一部の地域で大雨(11～14日)

11日は、前線上に発生した低気圧が日本の南を進んだ影響で沖縄・奄美から東日本を中心に雨となり、九州

南部・奄美地方では大雨となったところがあったほか、上空の寒気や湿った空気の影響で北日本を中心に雨となった。また、沖縄地方、関東甲信地方、東北地方では雷となったところがあった。12日は、日本の東の低気圧や湿った空気の影響で東日本から北日本にかけての太平洋側を中心に雨となり雷となったところがあった。沖縄・奄美は前線が停滞し雨となった。13日から14日は、前線上に発生した低気圧が本州の南岸を進み沖縄・奄美から東日本では雨となり、大雨となったところがあった。北日本は高気圧に覆われ晴れたところが多かった。

**南西諸島付近から日本の南に停滞した前線や低気圧の影響で全国的に雨、一部の地域で大雨、その後、前線上に低気圧が発生し、沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に雨、沖縄地方では一部で大雨(15～18日)**

15日から16日は、南西諸島付近から日本の南に停滞した前線や日本海から北海道へ進んだ低気圧の影響で全国的に雨となり、沖縄・奄美では雷となったところがあった。17日は、南西諸島付近から日本の南に停滞した前線の影響で、沖縄・奄美や九州南部で雨となり、沖縄地方では雷となったところがあった。また、湿った空気やオホーツク海の低気圧の影響で、北日本では雨となったところがあった。西日本から東日本にかけての日本海側はおおむね晴れた。18日は、前線上に発生した低気圧が本州の南岸を進み、沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に雨となり、沖縄地方では大雨や雷となったところがあった。その他の地域はおおむね晴れたが、北海道では上空の寒気の影響で雨や雷となったところがあった。

**本州の南岸に前線が停滞し九州、四国地方の太平洋側を中心に雨、九州南部では一部で大雨、東日本から北日本は上空の寒気等の影響により一部で雨、その後も前線が本州の南岸に停滞し、西日本から東日本で雨、一部の地域で大雨(19～23日)**

19日から20日は、九州南部から本州の南岸に停滞した前線の影響で九州、四国地方の太平洋側を中心に雨となり、九州南部では大雨、沖縄・奄美では雷となったところがあった。また、北海道付近を通過した低気圧や上空の寒気の影響で東日本から北日本では雨や雷となったところがあった。21日から22日は、本州の南岸に停滞した前線や低気圧の影響で西日本から東日本を中心に雨となり、九州や東海地方、伊豆諸島では大雨となったところがあったほか、沖縄・奄美や九州、東海地方では雷となったところがあった。北日本は高気圧に覆われおおむね晴れた。23日は、沖縄・奄美や西日本では晴れたところが多かったが、東日本から北日本を中心に湿った空気の影響で雨となったところがあった。

**前線や湿った空気の影響でほぼ全国的に雨、一部の地域で大雨、その後、高気圧に覆われ東日本から北日本で晴れたところが多かったが、上空の寒気等の影響で一部の地域で雨(24～26日)**

24日から25日は、日本海を進んだ低気圧からのびる前線や湿った空気の影響でほぼ全国的に雨となり、九州北部地方や北日本では大雨、北海道では強風、西日本や東日本では雷となったところがあった。26日は、高気圧に覆われ東日本から北日本にかけての太平洋側で晴れたところが多かったが、上空の寒気や湿った空気の影響で全国的に雨となったところがあった。北海道では強風、沖縄地方や西日本では雷となったところがあった。

**湿った空気や停滞した前線の影響で北日本を中心に雨、北陸地方や北日本では一部で大雨、その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れ(27～30日)**

27日は、高気圧に覆われ沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側でおおむね晴れたが、その他の地域は湿った空気の影響で雨や雷となったところがあり、北陸地方や東北地方で大雨となったところがあった。28日から30日は、北日本では低気圧が通過し、その後前線が停滞したため雨となり、北海道では大雨となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れたが、沖縄・奄美や九州、四国地方、関東地方では、雷となったところがあった。

**7月**

**前線の影響で北日本の一部で雨、西日本から東日本は高気圧に覆われおおむね晴れ、その後、沖縄を通過し西日本を進んだ台風第4号や上空の寒気の影響等で全国的に雨、一部の地域で大雨(1～7日)**

1日は、前線の影響で北日本では雨となったところがあったほか、湿った空気の影響で沖縄・奄美では雨となった。西日本から東日本は高気圧に覆われ晴れたが、九州北部地方や関東甲信地方では雷となったところがあった。2日は、台風第4号の影響で沖縄・奄美で雨となり、強風となったところがあった。西日本から東日本は高

気圧に覆われおおむね晴れたが西日本の太平洋側では湿った空気の影響で雨となったところがあったほか、近畿地方、甲信地方、北陸地方では雷となったところがあった。3日は、台風第4号の影響で沖縄・奄美を中心に雨となったほか、湿った空気で、西日本から東日本を中心に雨となり、大雨や雷となったところがあった。北日本は高気圧に覆われおおむね晴れた。4日から5日は、西日本を進んだ台風第4号や台風から変わった温帯低気圧、上空の寒気の影響で全国的に雨となり雷となったところがあったほか、西日本から東日本では大雨となったところがあった。6日から7日は、台風から変わった低気圧や上空の寒気、湿った空気の影響で沖縄・奄美から東日本を中心に雨となったところがあり、西日本から東日本では雷となったところがあった。北日本は高気圧に覆われ日本海側を中心に晴れた。

#### **低気圧や上空の寒気、湿った空気の影響で西日本から北日本で雨、一部の地域で大雨、沖縄・奄美は高気圧に覆われ晴れ(8～13日)**

8日から9日は、日本海の低気圧や日本の東を北上した低気圧の影響で西日本や東日本では雨となり、大雨や雷となったところがあったほか、北日本の太平洋側でも雨となった。その他の地域はおおむね晴れた。10日は、湿った空気や上空の寒気の影響で近畿地方や東海地方で雨となり、東海地方では雷となったところがあった。また、北海道付近の低気圧の影響で北日本の太平洋側では雨となり、大雨や雷となったところがあった。11日から13日は低気圧や上空の寒気、湿った空気の影響で、西日本から北日本では雨や雷となり、近畿地方、東海地方、関東地方、東北地方では大雨となったところがあった。沖縄・奄美は高気圧に覆われ晴れた。

#### **本州付近の前線の影響で、全国的に雨、一部の地域で大雨(14～17日)**

14日は、華北から東日本へのびる前線の影響で西日本から東日本で雨となり、雷となったところがあった。15日から16日は、日本海の低気圧や前線が本州の南岸に停滞した影響で、全国的に雨となり、大雨や雷となったところがあった。17日は、北日本付近を北上した前線や、東シナ海の前線、湿った空気の影響で、東日本や北日本で雨となり、沖縄・奄美や西日本では雨となったところがあった。沖縄・奄美から北日本では雷となったところがあったほか、奄美地方や北海道では大雨となったところがあった。

#### **前線や前線上の低気圧の影響で全国的に雨、一部の地域で大雨や暴風、その後、前線を伴った低気圧が通過し全国的に雨、一部の地域で大雨、西日本から東日本にかけての太平洋側は次第に晴れ(18～23日)**

18日から19日は、前線上に発生した低気圧が黄海から北日本付近へ進んだ影響で、全国的に雨となり、西日本や東海地方では大雨となったところがあったほか、四国地方では暴風、西日本から北日本では雷となったところがあった。20日は、北日本付近の低気圧の影響で北日本を中心に雨となり、雷となったところがあった。また、黄海の低気圧から西日本付近にのびる前線の影響で、九州では雨となり、大雨や雷となったところがあった。その他の地域はおおむね晴れた。21日は、前線を伴った低気圧が黄海から日本海へ進んだ影響で西日本から北日本にかけて雨となったところがあり、近畿地方では雷となったところがあった。22日は、日本海の低気圧により中国地方から北日本にかけて雨となり、東北地方では大雨、近畿地方、東海地方、関東地方では雷となったところがあった。沖縄・奄美は高気圧に覆われ晴れた。23日は、北日本付近の低気圧の影響で、北陸地方から北日本を中心に雨となり、北日本では雷となったところがあった。西日本から東日本にかけての太平洋側はおおむね晴れた。

#### **高気圧に覆われたが、東北地方に停滞した前線や熱帯低気圧、湿った空気の影響により一部の地域で雨、東海地方では一部で大雨(24～27日)**

24日は、低気圧や前線、湿った空気の影響で、九州北部地方や北日本では雨となったところがあった。また、九州北部地方では雷となったところがあった。その他の地域はおおむね晴れた。25日は、東北地方に停滞した前線や湿った空気の影響で西日本の日本海側や東北地方で雨となった。また、日本の南を北上した熱帯低気圧の影響で伊豆諸島を中心に雨となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。26日は、前線や湿った空気の影響で東日本を中心に雨となり、雷となったところがあったほか、東海地方では大雨となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。27日は、前線や湿った空気の影響で沖縄・奄美から東日本を中心に雨となり、東海地方では大雨、西日本から北日本では雷となったところがあった。

#### **台風第5号、第6号、湿った空気の影響で、沖縄・奄美や西日本の太平洋側を中心に雨、一部の地域で大雨、その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れ(28～31日)**

28日は、高気圧に覆われおおむね晴れたが、湿った空気の影響で沖縄・奄美や西日本の太平洋側、東日本

では雨や雷となったところがあった。29日から30日は、台風第5号や熱帯低気圧、湿った空気の影響により沖縄・奄美や西日本の太平洋側を中心に雨となり、雷となったところがあったほか四国地方では大雨となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れたが、東日本では雨や雷となったところがあった。31日は、沖縄付近を進んだ台風第6号や湿った空気の影響で、沖縄・奄美や西日本の太平洋側を中心に雨や雷となり、沖縄地方や四国地方では大雨となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れたが、北陸地方や関東甲信地方では雷となったところがあった。

## 8月

**前線が北日本から東日本へ南下し東日本から北日本を中心に雨、一部の地域で大雨、その後、湿った空気や上空の寒気の影響により一部で雨、西日本では一部で大雨(1～7日)**

1日は、前線の影響によって北日本で雨となり、北海道では大雨となったところがあった。沖縄・奄美は湿った空気の影響で雨となり、雷となったところがあった。西日本から東日本は高気圧に覆われおおむね晴れたが、湿った空気の影響で、雨となったところがあり、北陸地方、関東甲信地方では雷となったところがあった。2日は、前線や低気圧の影響によって北日本で雨となり、東北地方では雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れたが関東地方では雷となったところがあった。3日から4日は、前線が北日本から東日本へ南下し中国地方から東北地方で雨や雷となり、北陸地方や東北地方では大雨となったところがあった。沖縄・奄美や九州、四国地方は高気圧に覆われ晴れたところが多かった。5日から6日は、日本の南へ南下した前線や湿った空気、上空の寒気の影響で、沖縄地方から北陸地方を中心に雨や雷となったところがあり、九州北部地方や中国地方では大雨となったところがあった。7日は、高気圧に覆われ全国的に晴れたところが多かったが、湿った空気の影響で西日本から北日本で雨や雷となったところがあった。

**前線が北日本に停滞し北日本を中心に雨、一部の地域で大雨、その後も前線が停滞しつつ台風第8号が静岡県に上陸し、西日本や東日本でも雨、一部の地域で大雨(8～14日)**

8日から10日は、前線が北海道にのび、その後北日本に停滞した影響で、北日本で雨となり大雨や雷となったところがあった。沖縄・奄美から東日本は高気圧に覆われおおむね晴れたが、湿った空気の影響で雨や雷となったところがあった。11日から12日は、日本海から北日本付近に停滞した前線の影響で西日本の日本海側や北日本で雨となり雷となったところがあったほか、北日本では大雨となったところがあった。また、日本の南を北上した台風第8号や湿った空気の影響で近畿地方から東日本にかけての太平洋側を中心に雨となり雷となったところがあったほか、東海地方と甲信地方では大雨となったところがあった。13日は、日本海から北日本付近に停滞した前線や、静岡県に上陸し関東地方を北東へ進んだ台風第8号の影響で西日本から東北地方を中心に雨となり、雷となったところがあったほか、東海地方、関東地方、伊豆諸島、東北地方では大雨となったところがあった。また、関東地方では強風となったところがあった。14日は、関東の東から北海道付近へ進んだ台風第8号や北日本付近の前線、湿った空気の影響で全国的に雨や雷となったところがあり、近畿地方、北陸地方では大雨となったところがあった。

**前線を伴った低気圧が繰り返し本州を通過し、全国的に雨、一部の地域で大雨、北海道では一部で暴風、その後、低気圧が四国の南を進み四国地方から東海地方にかけて雨、東海地方では一部で大雨(15～22日)**

15日は、日本海を進んだ低気圧からのびる前線や湿った空気の影響で、西日本から北日本で雨となったところがあり、九州、四国地方、近畿地方、東海地方では雷となったところがあった。沖縄・奄美は高気圧に覆われ晴れた。16日から18日は、前線を伴った低気圧が続けて北日本を通過し、前線が西日本や東日本を通過した影響で全国的に雨となり、沖縄・奄美から東日本では雷、九州北部地方、近畿地方では大雨、北海道では大雨や暴風となったところがあった。19日は、低気圧や前線、湿った空気の影響で北海道や九州では雨となったところがあったが、その他の地域はおおむね晴れた。20日から21日は、西日本から北日本を低気圧や前線が通過した影響で全国的に雨となり、九州北部地方、東海地方、北陸地方では大雨となったところがあったほか、西日本から東日本では雷となったところがあった。22日は、四国の南の低気圧や湿った空気の影響で四国地方から東海地方にかけて雨となったところがあり、東海地方では大雨や雷となったところがあった。その他の地域はおおむね晴れた。

**北日本を通過した前線や西日本付近の低気圧等の影響で西日本から北日本で雨、その後、前線や湿った空気の影響で沖縄・奄美と東日本から北日本で雨、伊豆諸島では一部で大雨、高気圧に覆われた西日本を中心**

### に次第に晴れ、台風第11号の影響で小笠原諸島では暴風(23～29日)

23日は、北日本を前線が通過した影響で北日本を中心に雨となった。沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側はおおむね晴れた。24日から25日は、西日本付近を進んだ低気圧や、湿った空気の影響で西日本から東北地方にかけて雨となり、沖縄・奄美から東日本では雷となったところがあった。26日から28日は、前線や湿った空気の影響で沖縄・奄美と東日本から北日本で雨となり、雷となったところがあったほか、伊豆諸島では大雨となったところがあった。西日本は晴れたところが多かった。29日は、伊豆諸島付近にのびる前線の影響で伊豆諸島や東海地方を中心に雨となった。また、台風第11号の影響で、小笠原諸島では暴風となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

### 前線や湿った空気の影響で西日本から北日本で雨、一部の地域で大雨、台風第11号の影響で沖縄・奄美の一部で大雨や暴風(30～31日)

30日は、湿った空気や日本海から日本の東へのびる前線の影響で、近畿地方から東北地方では雨となり、東海地方では大雨や雷、近畿地方や北陸地方では雷となったところがあった。その他の地域はおおむね晴れた。31日は、北日本付近へ進んだ低気圧や前線、沖縄付近へ進んだ台風第11号の影響により沖縄・奄美や北日本で雨となり、西日本から東日本でも雨となったところがあった。また、沖縄地方から東北地方にかけて雷となったところがあったほか、沖縄地方では大雨や暴風、東海地方では大雨となったところがあった。

## 9月

### 本州付近に前線が停滞し、台風第11号が沖縄付近から東シナ海を北上した影響で全国的に雨、一部の地域では大雨や暴風、その後台風が日本海を進み沖縄・奄美から東日本を中心に雨、一部の地域では大雨や暴風(1～7日)

1日から3日は、本州付近に停滞した前線や、沖縄付近に接近した台風第11号の影響で、全国的に雨となり、沖縄地方では暴風、沖縄・奄美から東日本にかけては大雨や雷となったところがあった。4日は、台風第11号が東シナ海を北上し、沖縄・奄美では雨となり、大雨や暴風、雷となったところがあった。西日本から北日本は高気圧に覆われ晴れたところが多かったが、湿った空気の影響で雨となったところがあり、近畿地方や東海地方では雷となったところがあった。5日は、台風第11号が東シナ海から対馬海峡へ進み、沖縄・奄美から九州を中心に雨となり、九州南部では大雨、沖縄・奄美や九州では強風となったところがあった。その他の地域でも湿った空気や日本海から北海道へのびる前線の影響で雨となったところがあった。6日は、日本海を進んだ後、温帯低気圧に変わった台風第11号の影響で沖縄・奄美から北陸地方で雨となり、沖縄・奄美で雷、四国地方で大雨となったほか、九州北部地方や北陸地方で暴風、四国地方、中国地方、北海道では強風となったところがあった。7日は、湿った空気の影響で近畿地方から東北地方で雨となり、関東地方では雷となったところがあった。また、台風から変わった温帯低気圧からのびた前線の影響で北海道では雨や強風となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

### 北日本を中心に高気圧に覆われたが、湿った空気の影響で四国地方から東北地方の一部で雨、その後沖縄付近を台風第12号が北上し沖縄・奄美や西日本の一部の地域で大雨、暴風、その後高気圧に覆われ晴れたところが多かった(8～16日)

8日から9日は、湿った空気の影響で近畿地方から東北地方で雨となり、雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。10日は、湿った空気の影響で、四国地方から関東地方では雨や雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。11日から13日は、沖縄付近を北上した台風第12号や湿った空気の影響で沖縄・奄美や西日本では雨や雷となったところがあり、沖縄地方では大雨や暴風、九州南部でも大雨となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れたが、13日は北海道では気圧の谷の影響で雨や雷となったところがあった。14日から15日は、高気圧に覆われ晴れたところが多かったが、湿った空気の影響で沖縄・奄美や西日本の太平洋側、東日本では雨となったところがあった。16日は、湿った空気の影響で沖縄・奄美から四国地方、北海道では雨となったところがあり、沖縄・奄美では雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

### 九州を北上し、日本海で温帯低気圧となった台風第14号や前線の影響で、全国的に雨、一部の地域では大雨や暴風(17～21日)

17日は、台風第14号が南大東島の東を北西へ進み、沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側を

中心に雨となり、大雨となったところがあったほか、沖縄・奄美や九州では強風となったところがあった。18日から19日にかけては、九州を北上し日本海へ進んだ台風第14号や北日本付近にのびた前線の影響で、全国的に雨となり、奄美地方から関東甲信地方では大雨、九州では暴風、沖縄・奄美から中国地方にかけて強風、四国地方、関東地方、北海道では雷となったところがあった。20日は、台風から変わった温帯低気圧や低気圧からのびる前線が本州を通過した影響で、四国地方から北海道にかけて雨となり、北陸地方では暴風、東北地方では強風、関東地方では雷となったところがあった。21日は、湿った空気の影響で東日本を中心に雨となったところがあったが、その他の地域は晴れたところが多かった。

**台風第15号や台風から変わった低気圧の影響で四国地方から北海道にかけて雨、一部の地域では大雨、その後、高気圧に覆われおおむね晴れ(22～26日)**

22日は、伊豆諸島付近から日本の東に停滞した前線や気圧の谷、湿った空気の影響で四国地方から東北地方にかけて雨となった。その他の地域はおおむね晴れたが、沖縄・奄美では雷となったところがあった。23日から24日は、日本の南を北上した台風第15号や台風第15号から変わった低気圧が東海地方から伊豆諸島付近を進んだ影響、北日本付近を通過した前線の影響で、四国地方から北海道にかけて雨となり、近畿地方、東海地方、関東甲信地方では大雨、東海地方、関東地方では雷となったところがあった。25日から26日は、高気圧に覆われおおむね晴れたが、気圧の谷や湿った空気の影響で、沖縄・奄美や西日本では雨となったところがあり、九州では雷となったところがあった。

**気圧の谷や湿った空気の影響で九州から北陸地方を中心に雨、台風第17号の影響で小笠原諸島では暴風、その後高気圧に覆われほぼ全国的に晴れ(27～30日)**

27日から28日は、気圧の谷や湿った空気の影響で、九州から北陸地方を中心に雨となり、西日本では雷となったところがあった。また、小笠原諸島付近を北上した台風第17号の影響で小笠原諸島では暴風となった。その他の地域は晴れたところが多かった。29日は、日本の南の低気圧や湿った空気の影響で西日本から東日本にかけての太平洋側で雨となったところがあったが、その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。30日は、高気圧に覆われおおむね晴れたが、湿った空気の影響で伊豆諸島や関東地方南部では雨となったところがあった。

## 10月

**高気圧に覆われほぼ全国的に晴れ、その後前線が通過し本州の南岸に停滞し一部で雨、北日本では一部で大雨、その後、低気圧が本州の南岸を進み全国的に雨、沖縄地方では一部で大雨(1～8日)**

1日から2日は、高気圧に覆われ全国的におおむね晴れたが、北海道では前線の影響で雨となったところがあった。3日は、沖縄・奄美や西日本は高気圧に覆われおおむね晴れたが、その他の地域は湿った空気の影響で、雨となったところがあった。4日は、寒冷前線が通過した西日本から東日本にかけての日本海側や北日本で雨となり、北日本では大雨、北海道では強風、九州北部地方では雷となったところがあった。西日本から東日本にかけての太平洋側はおおむね晴れた。5日から6日は前線が本州の南岸に停滞し、湿った空気の影響で全国的に雨となったところが多かった。7日から8日は、本州の南岸に停滞する前線上を進んだ低気圧や日本海の低気圧、湿った空気の影響で、全国的に雨となり、沖縄地方では大雨となったところがあった。

**低気圧や本州を通過した前線の影響で全国的に雨、一部の地域で大雨、その後、高気圧に覆われ北日本や西日本では晴れたところが多かったが、前線や湿った空気の影響で沖縄・奄美や東日本、北日本の一部で雨(9～15日)**

9日から10日は低気圧が朝鮮半島付近から沿海州へ進み、前線が本州を通過した影響で全国的に雨となり、東海地方で大雨、北海道では大雨と強風、近畿地方では雷となったところがあった。11日は、低気圧や寒気の影響で北陸地方から北海道にかけて雨となり、北海道では強風や雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われ太平洋側を中心に晴れた。12日から14日は、高気圧に覆われ、北日本や西日本では晴れたところが多かったが、湿った空気や伊豆諸島付近に停滞した前線の影響で沖縄・奄美や関東甲信地方を中心に雨となったところがあり、伊豆諸島では強風となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。15日は、日本海の高気圧に覆われ西日本を中心に晴れたが、その他の地域は気圧の谷や湿った空気の影響で雨となったところがあり、北海道では雷となったところがあった。

**前線や湿った空気の影響で全国的に雨、その後高気圧に覆われ西日本や東日本を中心に次第に晴れ、伊豆諸島では一部で大雨(16～21日)**

16日は、湿った空気や東シナ海から九州へのびる前線の影響で沖縄・奄美や九州を中心に雨となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。17日は、北日本を通過した寒冷前線や本州の南岸に停滞した前線の影響で全国的に雨となった。18日から19日は、高気圧に覆われ西日本の太平洋側や北日本の太平洋側はおおむね晴れたが、その他の地域は寒気や湿った空気、伊豆諸島付近の前線の影響で雨となり、伊豆諸島では大雨となったところがあった。20日から21日は高気圧に覆われ西日本や東日本を中心におおむね晴れたが、その他の地域では湿った空気や気圧の谷の影響で雨となったところがあった。

**高気圧に覆われ西日本は晴れたところが多く、西日本以外は前線や低気圧、寒気等の影響により一部で雨、伊豆諸島では一部で大雨、その後、高気圧に覆われ東日本から北日本を中心に晴れ、沖縄・奄美や西日本は気圧の谷の影響により一部で雨(22～27日)**

22日から23日は、沖縄付近の低気圧や湿った空気の影響で沖縄・奄美では雨となり雷となったところがあった。また、寒気や湿った空気や北日本を通過した前線の影響で、北陸地方から北日本を中心に雨となり、雷となったところがあった。その他の地域は晴れたところが多かったが、関東地方では雷となったところがあった。24日から25日は、高気圧に覆われ沖縄・奄美や西日本の太平洋側は晴れたところが多かったが、その他の地域は低気圧や気圧の谷、湿った空気の影響で雨となったところがあり、伊豆諸島では大雨、西日本や北陸地方では雷となったところがあった。26日は、高気圧に覆われ全国的におおむね晴れたが、上空の寒気の影響で雨となったところがあった。27日は、高気圧に覆われ東日本や北日本はおおむね晴れたが、沖縄・奄美や西日本は気圧の谷の影響で雨となったところがあった。

**低気圧や寒気の影響で北日本を中心に雨、停滞前線や湿った空気の影響で沖縄・奄美で雨、一部で大雨、その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れ(28～31日)**

28日から30日は、低気圧や寒気の影響で、北陸地方や北日本で雨となり、北海道では雷となったところがあったほか、沖縄・奄美は湿った空気の影響で雨となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。31日は、沖縄付近に停滞した前線の影響で沖縄・奄美で雨となり、大雨となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れたが、湿った空気の影響で東海地方を中心に雨となったところがあった。

## 11月

**沖縄・奄美は前線や湿った空気の影響で雨、一部で大雨、西日本から東日本は気圧の谷や湿った空気の影響で雨、一部で大雨、その後高気圧に覆われ晴れ、北日本は前線や低気圧の影響で雨(1～3日)**

1日は、沖縄の南に停滞した前線の影響で、沖縄・奄美で雨となり、大雨となったところがあった。また、湿った空気や気圧の谷の影響で、九州から北陸地方、北海道でも雨となり、四国地方と東海地方では大雨となったところがあった。2日から3日は、高気圧に覆われ西日本から東日本はおおむね晴れたが、北日本付近を前線や低気圧が通過した影響で、北日本では雨となったところがあった。また、沖縄・奄美は前線や湿った空気の影響で雨となった。

**高気圧に覆われ西日本から東日本を中心に晴れ、寒気や湿った空気等の影響で北陸地方や北日本の日本海側を中心に雨(4～8日)**

4日から5日は、高気圧に覆われ西日本から北日本にかけての太平洋側を中心におおむね晴れたが、その他の地域は寒気や湿った空気の影響で雨となったところがあった。6日から7日は、高気圧に覆われおおむね晴れたが、気圧の谷や湿った空気の影響により各地で雨となったところがあった。8日は、寒気の影響で、北陸地方や北日本では雨となったところがあり、北陸地方や東北地方では雷となったところがあったが、その他の地域は高気圧に覆われ晴れた。

**高気圧に覆われ西日本から東日本で晴れ、前線や寒気の影響で北日本では一部で雨、湿った空気の影響で沖縄・奄美では一部で大雨(9～11日)**

9日から10日は、高気圧に覆われ西日本や東日本は晴れたが、前線や寒気の影響により北日本では雨となったところがあったほか、沖縄・奄美では湿った空気の影響で雨となったところがあった。11日は、高気圧に覆わ

れ西日本から北日本にかけておおむね晴れたが、湿った空気の影響で沖縄・奄美では雨や雷雨となり、大雨となったところがあった。

**前線を伴った低気圧が北日本付近を進み全国的に雨、一部の地域で大雨や暴風、その後高気圧に覆われたが、寒気や湿った空気の影響により各地で雨(12～14日)**

12日から13日は、高気圧が日本の東を移動し、前線を伴った低気圧が日本海から北日本付近へ進み、別の低気圧が日本の南を進んだ影響で、沖縄・奄美から北日本にかけては、次第に西から雨となり、沖縄地方では大雨、北海道では暴風となったところがあった。14日は、高気圧に覆われ晴れたところが多かったが、寒気や湿った空気の影響により西日本の日本海側や、東日本、北日本では雨となったところがあり、東北地方や北海道では強風となったところがあった。

**2つの低気圧が日本の東へ進んだ影響、また寒気の影響で日本海側を中心に雨、その後、高気圧に覆われたが寒気や低気圧の影響で北日本を中心に一部で雨や雪、前線等の影響で沖縄・奄美や九州南部では一部で大雨(15～19日)**

15日から16日は、低気圧が伊豆諸島付近と北日本付近をそれぞれ進んだ影響、また寒気の影響により、関東甲信地方や、中国地方から北海道にかけての日本海側で雨となり、北陸地方や中国地方では雷となったところがあった。沖縄・奄美でも湿った空気や前線によって雨となったところがあった。17日から19日は、沖縄付近を北上した前線や低気圧の影響で沖縄・奄美や九州南部で雨となり、大雨となったところがあった。また、寒気や低気圧の影響で北陸地方や北日本では雨や雪となったところがあり、東北地方では雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

**低気圧が北日本や日本の南、本州の南岸を通過し全国的に雨、一部の地域で大雨(20～24日)**

20日は日本の南を進んだ低気圧や気圧の谷、湿った空気の影響により西日本から東日本で雨となり、近畿地方や東海地方では大雨となったところがあった。21日は、気圧の谷や湿った空気の影響で東日本から北日本にかけて雨となったが、沖縄・奄美や西日本は高気圧に覆われおおむね晴れた。22日は、北日本を前線が通過し北日本の日本海側を中心に雨となった。また、東シナ海の前線や低気圧の影響で沖縄・奄美や九州南部を中心に雨となった。東日本から北日本にかけての太平洋側は高気圧に覆われおおむね晴れた。23日から24日は、本州の南岸から日本の東へ進んだ低気圧や日本海の低気圧の影響で全国的に雨となり、伊豆諸島では大雨、四国地方から東海地方にかけて雷となったところがあった。

**高気圧が日本の東を進み、前線や気圧の谷が通過し各地で雨、沖縄・奄美では停滞前線の影響により一部で大雨、その後、高気圧に覆われたが、湿った空気等の影響により一部で雨、寒気の影響で北海道では一部で雪(25～28日)**

25日は、高気圧に覆われ西日本から北日本にかけておおむね晴れたが、東日本や北日本では寒気や気圧の谷の影響で雨となったところがあった。沖縄・奄美は停滞した前線の影響で雨となり、大雨となったところがあった。26日は、北日本を通過した寒冷前線や気圧の谷、湿った空気の影響で全国的に雨となり、北海道で強風、中国地方から北海道にかけては雷となったところがあった。27日は、高気圧に覆われ沖縄・奄美から東日本と北日本太平洋側はおおむね晴れたが、気圧の谷や寒気の影響で北陸地方から北日本日本海側では雨や雪となったところがあった。28日は高気圧に覆われ晴れたところが多かったが、高気圧は日本の東へ次第に進み、湿った空気の影響で沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側では雨、北海道では雨や雪となったところがあった。

**前線や冬型の気圧配置の影響で全国的に雨、一部の地域で大雨、北日本では一部で雪(29～30日)**

29日から30日は、日本付近を低気圧や前線が通過し、低気圧は発達しながらオホーツク海へ進み、次第に冬型の気圧配置となった影響で全国的に雨となり、北日本の日本海側では雪となったところがあった。九州南部や四国地方、東海地方で大雨や雷、北海道では強風となったところがあった。

**12月**

**冬型となり、沖縄・奄美や日本海側を中心に雨や雪、太平洋側はおおむね晴れ(1～2日)**

1日から2日は、冬型で次第に西から高気圧に覆われたため、太平洋側は晴れたところが多かったが、関東甲



信地方は気圧の谷の影響により一部で雨となった。沖縄・奄美と西日本から北日本にかけての日本海側は雨や雪となり、北海道では強風となったところがあった。

**日本の南の前線や北日本を通過した低気圧の影響で、沖縄・奄美や九州、北日本は雨や雪、一部の地域では大雨、高気圧に覆われた西日本と東日本はおおむね晴れ、その後日本の南や日本海の前線や低気圧の影響で全国的に雨(3~6日)**

3日から4日は、沖縄・奄美や九州は南西諸島から日本の南にのびる前線の影響により雨で、沖縄地方では大雨となったところがあった。北日本は前線を伴った低気圧が通過しその後の寒気の影響により、雨や雪となり、北海道では強風となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。5日は、日本の南の前線や日本海の低気圧の影響で全国的に雨となった。6日は、西から次第に高気圧に覆われたが、日本海や関東の東の低気圧が北東へ進んだ影響で、東日本から北日本にかけては雨や雪で、北陸地方では雷となったところがあった。その他の地域はおおむね晴れた。

**寒気の影響で日本海側を中心に雪や雨、太平洋側は高気圧に覆われおおむね晴れたが、日本の南の前線や低気圧の影響で沖縄地方や小笠原諸島は雨となり、一部の地域では大雨(7~12日)**

7日から8日は、寒気や気圧の谷の影響で日本海側を中心に雪や雨となり、北陸地方や東北地方では雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れたが、気圧の谷の影響で沖縄では雨となったところがあった。9日から10日は、前線や低気圧の影響で沖縄地方や小笠原諸島は雨となり、大雨となったところがあった。また、寒気の影響で北陸地方や北日本日本海側で雨や雪となり、北陸地方では雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。11日は、寒気や気圧の谷の影響で中国地方や北陸地方、東北地方で雨や雪となり、北陸地方では雷となったところがあった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れたが、気圧の谷の影響で雨となったところがあった。12日は、高気圧に覆われたため広い範囲で晴れたが、寒気や気圧の谷の影響により雨や雪となったところがあった。

**前線が日本付近を通過し全国的に雨や雪、その後冬型が強まったため、西日本から東日本の日本海側や北日本は雪や雨、北陸地方や北海道では一部で暴風、西日本から東日本の太平洋側はおおむね晴れ。(13~16日)**

13日は、低気圧が発達しながらオホーツク海へ進み、前線が日本付近を通過したため全国的に雨や雪で、中国地方や北海道で強風、北陸地方では雷となったところがあった。その後、14日から15日は、冬型が強まったため、日本海側を中心に雪となり、北陸地方や北海道で暴風、中国地方や伊豆諸島、東北地方は強風、北陸地方では雷となったところがあった。太平洋側はおおむね晴れたが、沖縄・奄美は寒気の影響で雨の降ったところがあった。16日は、西から冬型が緩み太平洋側はおおむね晴れたが、寒気の影響により北陸地方や北日本は雪となり、北海道で強風、北陸地方では雷となった。また、沖縄・奄美や九州南部は前線や気圧の谷の影響で雨となった。

**低気圧が日本海や日本の南岸を東へ進み、全国的に雨や雪、その後冬型が強まり、西日本から東日本の日本海側や北日本は雪、一部で大雪、九州南部では一部で暴風。(17~20日)**

17日は、日本海や日本の南岸の低気圧の影響により全国的に雨や雪となり、次第に西から冬型となったため沖縄・奄美や九州南部では強風となったところがあった。18日から19日は、冬型が強まり、西日本から東日本の日本海側や北日本で雪となり、北陸地方や東北地方で大雪、九州南部で暴風、北陸地方や伊豆諸島、北海道では強風となったところがあったほか、北陸地方では雷となったところがあった。また、沖縄・奄美は寒気や気圧の谷の影響により雨となったところがあった。20日は、冬型が次第に緩み、西から高気圧に覆われたため、沖縄・奄美から東日本太平洋側にかけておおむね晴れたが、北陸地方や北日本は寒気の影響で雪となった。

**低気圧が発達しながら日本海や日本の南岸を東へ進み、全国的に雨や雪、その後冬型が強まり、西日本から北日本で雪、一部で大雪、九州南部や北陸地方、北海道では一部で暴風。(21~26日)**

21日から22日は、低気圧が発達しながら日本海や日本の南岸を進んだ影響で全国的に雨や雪となり、北陸地方で暴風、東北地方や北海道では強風、九州や北陸地方では雷となったところがあった。23日から24日は、北海道付近で低気圧が発達し冬型が強まったため、西日本から北日本は雪で、北陸地方や北日本では大雪となったところがあったほか、普段雪の少ない西日本太平洋側や東海地方の平地でも積雪となったところがあった。また、九州南部や北陸地方、北海道では暴風となり、全国的に強風、北陸地方や東北地方では雷となつたところがあった。

ろがあった。25日から26日は、冬型が続き、日本海側は雪となった。太平洋側はおおむね晴れた。

**冬型が次第に緩み高気圧に覆われたため太平洋側はおおむね晴れ、寒気や前線の影響により沖縄・奄美と日本海側は雪や雨。(27～31日)**

27日から28日は、冬型が緩み次第に西から高気圧に覆われたため、西日本と東日本の太平洋側ではおおむね晴れたが、寒気や低気圧の影響で北陸地方や北日本では雪や雨となり、沖縄・奄美は寒気や気圧の谷の影響により雨のところがあった。29日から31日は、高気圧に覆われたため西日本や東日本太平洋側でおおむね晴れたが、寒気の影響により北陸地方や北日本日本海側は雪や雨で、北海道では強風、北陸地方では雷となったところがあった。また、沖縄・奄美は前線の影響により雨となった。